2024年度　事業報告書

2024（令和6）年4月1日～2025（令和7）年3月31日

学校法人　聖マリアンナ医科大学

建 学 の 精 神

キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする
医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、
ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成

年　月　日	学　校　法　人　の　沿　革　（　概　要　）
1971 年 1 月 27 日	学校法人東洋医科大学設置認可
1971 年 4 月 1 日	東洋医科大学開学（入学定員80名）
1972 年 7 月 1 日	中央電子顕微鏡研究施設設置
1973 年 4 月 1 日	聖マリアンナ医科大学に改称（入学定員を100名に増員）
1973 年 6 月 11 日	中央実験動物飼育管理研究施設設置
1974 年 2 月 12 日	大学病院（本館）開院
1976 年 1 月 1 日	共通放射能基礎医学研究施設設置
1977 年 3 月 30 日	大学院医学研究科設置認可
1977 年 4 月 1 日	大学院医学研究科開学(入学定員60名)
1979 年 3 月 24 日	看護専門学校設置認可
1979 年 4 月 1 日	看護専門学校第1、2看護学科開校（入学定員40名）
1980 年 7 月 1 日	大学病院（別館）開院
同	救命救急センター開設（大学病院）
1980 年 10 月 14 日	視聴覚教育センター設置
1983 年 7 月 9 日	メディカル・フォトセンター設置
1986 年 4 月 1 日	看護専門学校第1看護学科（入学定員を80名に増員）
1987 年 5 月 25 日	横浜市西部病院開院
1988 年 3 月 31 日	看護専門学校第2看護学科課程廃止
1988 年 7 月 6 日	ＭＲ棟開設
1988 年 12 月 26 日	大学院附属研究施設設置
1990 年 10 月 4 日	附属研究所（難病治療研究センター）開設
1993 年 11 月 26 日	大学病院特定機能病院承認
1994 年 5 月 16 日	夜間急患センター開設（大学病院）
1995 年 9 月 1 日	看護専門学校の看護専門課程より医療専門課程に名称変更
1996 年 10 月 5 日	特別教育施設「聖堂」献堂
1997 年 4 月 1 日	医学総合情報センター（図書館、視聴覚センター、メディカル・フォトセンター）の 3施設を統合開設
1997 年 11 月 1 日	大学病院臓器別外来診療体制へ移行
1999 年 4 月 1 日	6講座の統廃合(大講座制に改組)
2001 年 4 月 1 日	医学教育改革により、教育改革推進室を新設。学務部と医学総合情報センターの 一部を整理統合し、教学部に改組
2001 年 8 月 1 日	医学総合情報センターを医学情報センターに名称変更
2003 年 4 月 1 日	講座及び学科目の再編成、大学組織改革及び事務組織の再編成
同	臨床研修センター設置（大学病院）
2003 年 6 月 25 日	昭和薬科大学と教育・研究の交流に関する協定を締結
2004 年 11 月 1 日	知財事業推進センター開設
2005 年 4 月 1 日	大学院医学研究科の4専攻を医科学系専攻に統合し名称変更
同	大学基準協会認証評価認定
2006 年 2 月 1 日	川崎市から指定管理者として指定を受け川崎市立多摩病院開院
2007 年 1 月 22 日	日本医療機能評価機構認定
2008 年 2 月 6 日	機械棟（エネルギーセンター）開棟
2008 年 4 月 1 日	教育棟開棟
2008 年 6 月 16 日	東横病院新規開院
2008 年 11 月 1 日	附属研究所ブレスト&イメージング先端医療センター開設
2009 年 2 月 1 日	キリスト教文化センター開設
2009 年 3 月 2 日	附属研究所ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック開院
2009 年 4 月 1 日	医学部の入学定員を110名に増員し収容定員を660名に改変
2010 年 4 月 1 日	医学部の入学定員を115名に増員し収容定員を690名に改変

年　月　日	学　校　法　人　の　沿　革　（　概　要　）
2011 年 4 月 1 日	総合教育センター開設
2011 年 12 月 16 日	高神大学医学部（韓国 釜山）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2012 年 4 月 2 日	マリアンナさくら保育園開園
2013 年 7 月 3 日	明治大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2013 年 11 月 13 日	学校法人東京純心女子学園との相互連携に関する合意文書を締結
2014 年 4 月 22 日	上智大学と大学間交流に関する包括協定を締結
2015 年 1 月 26 日	江原国立大学医学部（大韓民国）との大学間交流に関する協定を締結
2015 年 4 月 1 日	男女共同参画キャリア支援センター開設
2015 年 4 月 1 日	臨床研究データセンター開設
2015 年 11 月 9 日	同済大学医学院（中国 上海市）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2016 年 4 月 1 日	情報部門及びIT戦略推進室設置
2016 年 7 月 1 日	田園調布学園大学及び川崎市宮前区との連携・協力に関する協定を締結
2016 年 10 月 6 日	ハワイ大学医学部（アメリカ ハワイ州）との医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2017 年 4 月 1 日	感染症センター開設
2018 年 3 月 23 日	中央大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2018 年 4 月 1 日	国際交流センター開設
2018 年 4 月 1 日	メディカルシミュレーションセンター開設
2019 年 3 月 11 日	国立成功大学（台湾）と大学間交流に関する包括協定等の締結
2019 年 4 月 1 日	ソウル大学校附属盆唐病院と聖マリアンナ医科大学病院との国際交流協定を締結
2019 年 6 月 12 日	ハノイ医科大学（ベトナム）との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019 年 8 月 1 日	デジタルヘルス共創センター開設
2019 年 8 月 1 日	大学医師会設立
2019 年 10 月 31 日	コンケン大学医学部（タイ）との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019 年 8 月 1 日	看護師特定行為研修センター開設
2020 年 4 月 1 日	リハビリテーション医学講座、緩和医療学講座開設
2020 年 6 月 4 日	朝鮮大学医学部（韓国）との学術交流協定を締結
2020 年 7 月 30 日	NITTE大学（インド）との学術交流協定を締結
2020 年 8 月 1 日	教学IRセンター開設
2020 年 12 月 9 日	ピッツバーグ大学との学術交流協定を締結
2021 年 4 月 1 日	「法務・監査室」を「内部監査室」と改称
2021 年 6 月 10 日	神奈川県立保健福祉大学と連携協定を締結
2021 年 10 月 14 日	本学創立50周年
2022 年 2 月 28 日	「学校法人聖マリアンナ医科大学 ガバナンス・コード」制定
2022 年 4 月 1 日	教学部「入試課」を設置
2022 年 4 月 1 日	「総合企画室」を「総合企画部」と改称し、「理事長室」を新設（「企画調査課」は既設）
2022 年 4 月 1 日	「主任教授」制を導入
2022 年 4 月 1 日	「男女共同参画キャリア支援センター」を「ダイバーシティ・キャリア支援センター」に改称
2022 年 6 月 1 日	日本医学教育評価機構(JACME)より「医学教育分野別評価基準」適合認定
2022 年 11 月 26 日	大学病院入院棟竣工祝福式・内覧会を挙行
2023 年 1 月 1 日	大学病院入院棟開院
2023 年 4 月 1 日	「病院経営管理室」を「病院経営戦略室」に改称
2024 年 3 月 31 日	東横病院閉院
2024 年 4 月 1 日	大学基準協会より大学基準適合が認定
2025 年 1 月 6 日	大学病院「外来棟」と「エントランス棟」が開棟
2025 年 1 月 10 日	文部科学大臣より改正寄附行為が認可

目　　次

Ⅰ．法人の概要

1. 法人の概況 …… 1
2. 設置する学校・学部・学科 …… 5
3. 収益事業 …… 5
4. 役員(理事・監事)および評議員関係 …… 5
5. 大学の主な役職者 …… 6
6. 教職員数 …… 7
7. 法人組織図 …… 8

Ⅱ．事業の概要

1. 教育・研究・診療活動の状況 …… 9
   - 1―1　大学病院 …… 11
   - 1―2　西部病院 …… 12
   - 1―3　多摩病院 …… 12
   - 1―4　ブレスト＆イメージング先端医療センター附属クリニック …… 12
2. 学生在籍者数 …… 13
3. 入学試験状況 …… 14
4. 国家試験合格状況 …… 16
5. 博士(医学)の学位授与状況 …… 16
6. 補助金交付状況 …… 17
7. 主な施設・設備の更新等 …… 18

Ⅲ．財務の概要

1. 財務の概況 …… 19
2. 学校法人会計 …… 20
3. 収益事業会計（多摩病院）…… 28
4. 附属病院等の状況 …… 29

I. 法人の概要

1. 法人の概況

(1) 改正私立学校法への対応

2025 年 4 月 1 日の改正私立学校法の施行に合わせ、本学でも寄附行為を全面的に改正し、文部科学大臣の認可を受けました（認可日：2025 年 1 月 10 日、施行日：2025 年 4 月 1 日）。今後は、改正後の寄附行為に則り、学内規程の細かな整備を進め、これまで以上に強固なガバナンス体制を確立し、公共性を自覚した透明かつ健全な運営に努めていきます。

施設面では、2025 年 1 月に大学病院の「外来棟」と「エントランス棟」が開棟し、2023 年 1 月に開棟した「入院棟」と合わせて、大学病院における診療機能の全てが新施設へ移転しました。今後は、新たに整備された最新の医療機器・設備を活用し、さらなる高度医療の実現を目指していきます。

(2) 医学部、大学院および看護教育

1) 医学部

2024 年 9 月に日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価（追加審査）を受審し、大学自己点検・評価委員会、医学部自己点検委員会を中心に対応した結果、2025 年度に同評価機構の世界医学教育連盟（WFME）の国際基準に基づく「医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.32」に適合していると認定される予定です（認定機関：2025 年 6 月 1 日～2029 年 5 月 31 日の予定）。

入学者選抜の広報活動として、6 月 29 日（土）に高校生（1～3 年生）、保護者、進路指導教員および予備校関係者を対象とした「令和 7 年度学校推薦型選抜説明会」を開催し、135 組 216 名の参加がありました。また、7 月 13 日（土）、14 日（日）の 2 日間で「令和 6 年度聖医祭・オープンキャンパス」を開催し、併せて 497 組 1,025 名の参加がありました。

入学者選抜については、近年の入試制度改革や受験生を取り巻く環境の変化をふまえ、多様な選抜方法を提示し、受験生一人ひとりの適性や状況に応じた受験機会の提供を実現することを目的として「大学入学共通テスト利用選抜」を令和 7 年度入学者選抜から新たに導入しました。その結果、各入学者選抜の志願者は、学校推薦型選抜（一般公募制）83 名、学校推薦型選抜（神奈川県地域枠）22 名、一般選抜（前期）3,104 名、一般選抜（後期）1,606 名、大学入学共通テスト利用選抜　519 名となり、総志願者数は 5,334 名となりました。

第 119 回医師国家試験の結果については、新卒合格率 90.0%、既卒合格率 100%、全体合格率 90.3%という結果となりました。

国際交流については、2024 年度の学生派遣は 11 名、留学生受入れは 20 名でした。また、2025 年 3 月に米国のメリーランド州立大学との間で、学生や教員の交流、さらには研究協力を目指す合意書の締結を行いました。

2) 大学院

第 2 学年に対して「学位論文研究の進捗に関する調査」を実施し、研究の進捗状況を調査し、受理審議委員より研究アドバイスを行いました。また、大学院学位記授与式では優秀論文者 2 名及び優秀指導者 2 名を表彰しました。

3)　看護専門学校

1. 入学者数の増加

本年度は新入生数が定員 68 名に対し大幅に下回ったため、その原因を分析したところ、2024 年度の 18 歳人口が過去最低水準であることが判明しました。来年度は多少の増加が見込まれるものの、その後は再び漸減傾向にあります。こうした厳しい環境下で専門学校として存続するため、入学試験方法を抜本的に見直し、広報活動を強化しました。その結果、志願者数は前年度比 1.5 倍に回復し、定員を大きく上回る合格者を確保できました。

2. カリキュラムマネジメントの推進

2022 年度から開始した第 5 次カリキュラムが完成年を迎えたことを契機に、全教育課程の見直しを実施しました。とりわけ、各学年に明確な教育目標を設定し、学生が常に学習の到達点を意識できるようにしました。今後は 2026 年度実施予定の一部修正に向けて準備を進めてまいります。

3. 国家試験対策の強化

2023 年度の第 113 回看護師国家試験では全国平均を下回る結果となり、本校でも十分な合格率を確保できませんでした。そこで、100%合格を目指し、対策体制を全面的に見直しました。ポイントは「最後までやり抜くこと」「個々に最適な対策を講じること」、そして「学生自身が現状を正しく認識し、主体的に取り組むこと」です。教職員はこれらを徹底的に共有し、一人ひとりの学生を最後まで強い心で支援した結果、第 114 回国家試験では 98.7%の合格率を達成しました。次年度はさらに目標を 100%に引き上げるべく、卒業試験目標の個別設定、臨地実習の進め方の見直し、担当教員によるきめ細かな指導を実践してまいります。

4. 継続的な環境改善および防災・防犯対策

本校舎は築後 50 年を超え、経年劣化による設備上の課題が顕在化しています。安全性を確保しながら、学生が快適に利用できる環境整備を「最小コストで最大効果」の考え方に基づき推進しています。さらに、老朽化に伴う換気不良や結露によるカビ発生リスクの高まりを踏まえ、サーキュレーターやエアコンの適切な運用、定期的な窓開放などによる換気強化を含めたカビ対策にも取り組んでいます。併せて、法令や文部科学省および自治体のガイドラインに準拠して防災・防犯マニュアルを見直し、防災・防犯訓練を継続的に実施してまいります。

5. 退学者数と支援策

2024 年度の退学者数は 5 名（新入生 4 名、留年生 1 名）となりました。過去の全国的なデータでは 1 年生夏休みまでの学校適応が退学防止のポイントであることが示されており、この期間の支援を徹底します。留年生については、毎日の登校意欲を高めるための課題設定や支援方法を検討中です。教職員が一人ひとりの学生を大切にし、全力でサポートしてまいります。

(3) 附属病院等の概況

1) 大学病院

大学の創立 50 周年記念事業の一環として実施している菅生キャンパスリニューアル計画では、ビジョンを「多様な高次機能をそなえ、人に優しく、働きやすく、社会の変化に柔軟に対応できる未来志向型病院」として、診療施設のリニューアル計画を進めております。2025 年 1 月に新外来棟・エントランス棟をオープンし、病院機能を有する建物は一新されました。

また、菅生キャンパスリニューアル計画は 2025 年より最終のステップに入り、現在利用している大学病院本館の解体、外構周りの整備として緑化計画、バスロータリー及び駐車場の整備等を経て 2027 年 6 月にグランドオープンを迎える予定です。

大規模な施設リニューアルを進めながら、新たな診療科やセンターの開設、部門の新設などを通じて診療体制を強化し、地域医療および医療全体の発展を支える中核病院としての機能を果たしています。

2) 西部病院

前年度までに引き続き「選ばれる病院」となることを目標とし、さまざまな施策を実施しました。具体的には、8 月から外来受付時間を延長し（12:00 まで）、11 月からは、毎月第 1・3 土曜日の外来診療（初診のみ）を開始しました。

地域連携セミナーを昨年度に続き、旭区、瀬谷区、大和市の医療機関を対象に、計 3 回開催し、引き続き地域クリニックの先生方との顔の見える関係を構築しています。12 月には旭区民文化センター「サンハート」にて、旭区民向け市民公開講座を現地開催し、201 名の参加がありました。

年間を通じて各診療部長による医療機関訪問を行っており、地域の先生方のニーズを伺って当院の運営に活かしています。

これらの施策により、西部病院の強みである地域との連携をさらに強化しました。

よりよい診療に関する数々の取り組みも行いました。7 月にロボット手術支援システム「センハンスサージカルシステム」を導入、その後、泌尿器科を中心に手術実績を重ねています。同じ 7 月には公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院 2」を受審、よりよい医療の実践を目指して全教職員が一丸となった取組を進めてきた結果、認定の更新を受けることができました。

10 月には横浜市が実施する産後母子ケア事業を受託し、母性病棟で生後 4 カ月までの母子の受入れを開始しました。全国的な傾向で分娩が減少している中、病院運営やスタッフに良い刺激を与えています。年が明けて 2025 年の 1 月 6 日には、長年の懸案の休棟中だった 3 階北病棟を 24 床、一部再稼働しました。開棟当初は限定的な受入を予定していましたが、同時期に感染症の流行により患者が急増したため、すぐに通常の病床運用となりました。

その他、7 年ぶりに実地で行われた 5 月の関東厚生局による適時調査では、大きな改善指摘事項はなく、同局より頂いたアドバイスを踏まえて、引き続き適切な保険診療を行っていきます。

3) 多摩病院

2024 年 4 月から、「第一種及び第二種協定指定医療機関指定医療機関として神奈川県より指定されました。

また、聖マリアンナ医科大学の附属病院としての機能を有する当院は、教育、研修施設としての役割を果たすことを目的に、内科診療と救急診療の 2 つを柱とする総合診療専門医研修プログラムと内科専門医研修プログラムがあり、医科大学の教員としても活躍する経験豊富な指導医から、救急医療ならびに総合的な内科診療等を中心に、多岐にわたる疾患について十分な指導を提供しております。

さらに、両研修に加え臨床研究を経験し、総合診療領域での専門医と博士号取得を目指す意欲的な総合診療アカデミックコースも設定され、2019 年度より本コースを開設し、これまでに 6 名が専門研修と並行して博士課程に在籍、4 名が専門医と博士号を取得しました。

これら初期研修医および内科医、総合診療医を目指す後期研修医の教育を行なうに当たり、説明会や見学の受入れ、ホームページの研修医サイトを活用し、研修内容等を発信しております。

ホームページサイトは、多摩病院サイトに加え、看護部サイト、産婦人科サイトにて病院からのメッセージを患者さんや地域の医療機関へ発信しております。ホームページに Chatbot を導入し、さらに、LINE や Instagram を導入し情報の発信を行っていす。

昨年度受審した日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定を受け、PDCA サイクルを回し院内機能及び質の向上を目的に院内サーベイヤーによる院内機能評価を継続的に行なっております。

4) ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

2024 年度は、6 月より 2 名の大学派遣医師の診療縮小によりまた 12 月には乳腺外科部長の体調面による一時的な診療縮小もあり、大幅に患者数が減少しました。これに付随して化学療法等治療を要し単価の高い患者数も伸び悩み、前年度を下回る稼働額(前年度比 1 億 1,681 万円減)となりました。次年度は新しく体制を立て直し、単価の高い治療の必要な患者を逃さず効率的に診療するため、治療枠を設けるなどし、収支改善に取り組んでいきます。引き続き固定費の抑制にも努め、さらなる業務改善を試み支出の抑制にも努めるとともに、2024 年度から実施しているアピアランスケアとしての医療用アートメイクなども拡充していきます。

(4) 被災地支援活動

東日本大震災、関東・東北豪雨、熊本地震、新型コロナウイルス感染症拡大事案など、過去に発生した大規模自然災害や感染症パンデミックへ災害派遣医療チーム（DMAT）や医療救護班を積極的に派遣してきました。直近では 2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震においても厚生労働省からの要請に応じた DMAT の派遣、日本小児科学会からの要請に応じた災害時小児周産期リエゾンの派遣、日本看護協会からの要請に応じた災害支援ナースの派遣を行いました。大学病院には DMAT 隊員だけでなく災害派遣精神医療チーム（DPAT）の隊員も在籍しており、今後も過去の活動経験を活かし有事の際には迅速かつ効果的な医療支援を行なってまいります。

2. 設置する学校・学部・学科

聖マリアンナ医科大学　医学部　医学科

開学年月日　　1971 年 4 月 1 日

所　在　地　　川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学　大学院　医学研究科

開学年月日　　1977 年 4 月 1 日

所　在　地　　川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学　看護専門学校　看護学科　医療専門課程

開校年月日　　1979 年 4 月 1 日

所　在　地　　川崎市宮前区菅生 2-16-1

3. 収益事業（2013 年 3 月 29 日付寄附行為変更認可によるもの）

川崎市立多摩病院の管理運営

指定管理者指定日　2015 年 6 月 24 日

所　在　地　　川崎市多摩区宿河原 1-30-37

4. 役員(理事・監事)および評議員関係

(1) 役員(理事 11 名・監事 2 名)構成

理事・監事	氏　名	任　期
理　事　長	明　石　勝　也	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
学　長	北　川　博　昭	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
常　勤　理　事	加　藤　智　啓	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
常　勤　理　事	大　坪　毅　人	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
常　勤　理　事	明　石　嘉　浩	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
常　勤　理　事	川　瀬　弘　一	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
常　勤　理　事	近　藤　浩　志	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
常　勤　理　事	鈴　木　宣　男	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
常　勤　理　事	山　本　真　士	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
非　常　勤　理　事	永　田　良　一	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
非　常　勤　理　事	菊　岡　正　和	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
監　事	福　嶋　弘　榮	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日
監　事	清　水　至	2023 年 4 月 1 日　～　2025 年 6 月 2 日

(2) 常勤理事構成

理　事　長　　明　石　勝　也　他常勤理事 8 名　（2025 年 3 月 31 日現在）

(3) 評議員構成

評　議　員　　明　石　勝　也　他評議員 26 名　（2025 年 3 月 31 日現在）

(4) 理事会・評議員会・常任役員会の開催状況

理事会開催日

第 一 回	2024 年 5 月 27 日
第 二 回	2024 年 9 月 30 日
第 三 回	2025 年 3 月 31 日

評議員会開催日

第 一 回	2024 年 5 月 27 日
第 二 回	2024 年 9 月 30 日
第 三 回	2025 年 3 月 31 日

常任役員会開催日

2024 年 4 月 22 日	2024 年 10 月 28 日	2025 年 2 月 25 日
2024 年 5 月 27 日	2024 年 11 月 25 日	2025 年 3 月 19 日
2024 年 6 月 24 日	2024 年 12 月 23 日	2025 年 3 月 31 日
2024 年 7 月 29 日	2025 年　1 月 27 日	
2024 年 9 月 30 日	2025 年　2 月 19 日	

5. 大学の主な役職者

役　　職	氏　　名	所　　属
学　　長	北　川　　博　昭	
医　学　部　長	加　藤　　智　啓	生化学　主任教授
研　究　科　長	遊　道　　和　雄	難治性疾患病態制御学　大学院教授
大　学　病　院　長	大　坪　　毅　人	消化器・一般外科学　主任教授
西　部　病　院　長	原　口　　直　樹	整形外科学　教授
多　摩　病　院　長	長　島　　悟　郎	脳神経外科学　教授
ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック院長	福　田　　護	乳腺・内分泌外科　特任教授

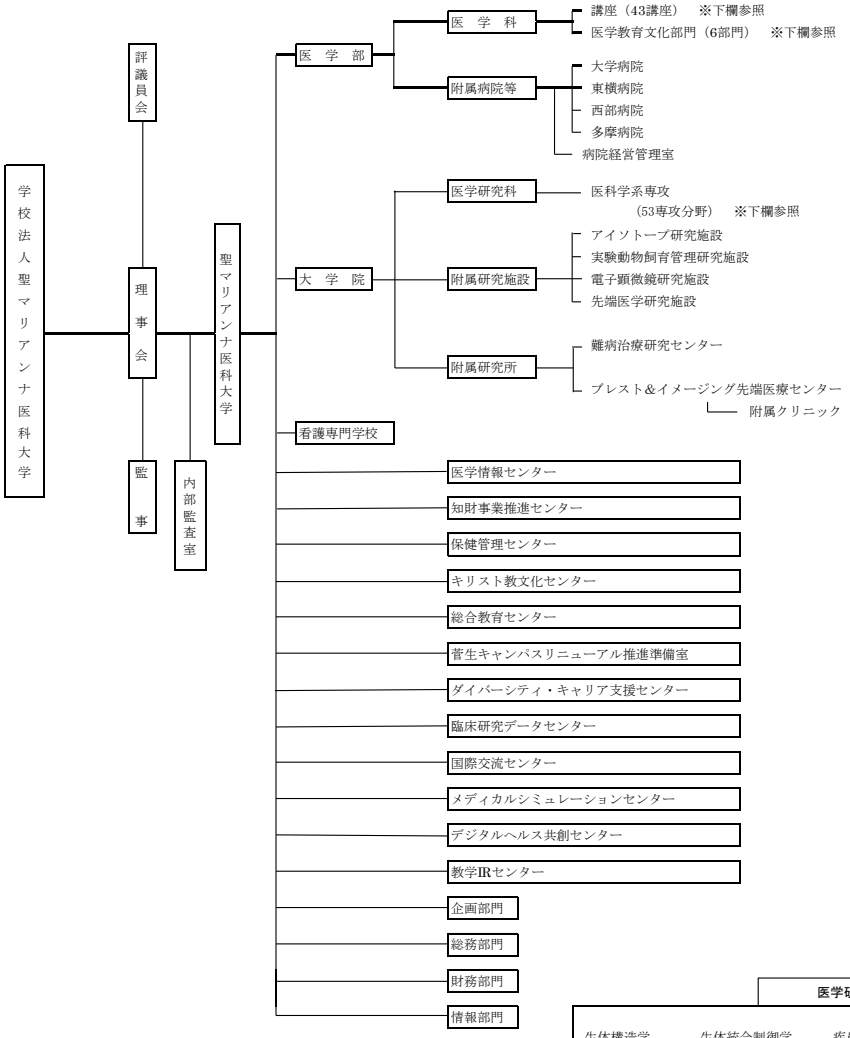
6. 教職員数 （2025 年 3 月 1 日現在）

区分		医学部	大学病院	西部病院	多摩病院	ﾌﾞﾚｽﾄ＆ｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞｾﾝﾀｰ附属ｸﾘﾆｯｸ	看護専門学校	大学院	大学院附属研究施設・附属研究所	合計
教員	学長	1								1
	教授※1	143	(105)	(19)	(10)	(1)		6		149
	准教授	76	(47)	(8)	(11)			1	7	84
	講師	123	(64)	(11)	(19)	(1)		1	3	127
	助教	682	(372)	(77)	(95)	(1)			6	688
	小計（１）	1,025	(588)	(115)	(135)	(3)		8	16	1,049
職員	その他医師		65	10	9	1				85
	看護師	13	1,244	537	455	11				2,260
	薬剤師		81	32	23	2				138
	臨床検査技師		113	28	24	5				170
	放射線技師		80	29	21	5				135
	OT・PT・ST		57	27	24					108
	医・診療技術員		84	31	27					142
	栄養士等		35	12	5					52
	事務員	199	166	83	69	6	4		1	528
	研究技術員	35							9	44
	教員						21			21
	その他	7	52	10	10					79
	小計（２）	254	1,977	799	667	30	25		10	3,762
合計（１）＋（２）		1,279	1,977	799	667	30	25	8	26	4,811
その他（研修医）			85	12	22					119
総計		1,279	2,062	811	689	30	25	8	26	4,930

看護師	看護師、保健師、助産師、准看護師、診療看護師
ＯＴ・ＰＴ・ＳＴ	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
医・診療技術員	臨床工学技士、視能訓練士、ソーシャルワーカー、臨床心理士、救急救命士、歯科衛生士、精神保健福祉士、胚培養士
栄養士等	管理栄養士、栄養士
事務員	事務、クラーク、秘書、司書、メディカルコーディネーター
その他	看護助手、保育士、電話交換手、運転手、工務技術員、技能員、技術員、診療アシスタント

※1 教授＝特任教授を含む

7. 学校法人聖マリアンナ医科大学組織図



医学科43講座

解剖学	総合診療内科学	小児科学			
生理学	呼吸器内科学	消化器・一般外科学			
生化学	循環器内科学	心臓血管外科学			
微生物学	消化器内科学	呼吸器外科学			
薬理学	腎臓・高血圧内科学	小児外科学	腎泌尿器外科学	麻酔学	緩和医療学
免疫学・病害動物学	代謝・内分泌内科学	乳腺・内分泌外科学	産婦人科学	救急医学	
病理学	脳神経内科学	脳神経外科学	眼科学	臨床腫瘍学	
予防医学	血液・腫瘍内科学	整形外科学	耳鼻咽喉科学	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学	
法医学	ﾘｳﾏﾁ・膠原病・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科学	形成外科学	放射線診断・IVR学	感染症学	
ｽﾎﾟｰﾂ医学	神経精神科学	皮膚科学	放射線治療学	臨床検査医学・遺伝解析学	

医学教育文化部門6部門

人文・社会科学	医学教育研究
語学系（英語）	医学情報学
医療倫理学	行動科学

医学研究科53専攻分野

生体構造学	生体統合制御学	疾患ﾌﾟﾛﾃｵｰﾑ・分子病態治療学	臨床微生物・感染制御学	臨床薬理学
病理病態学	再生医学・免疫病態医学	健康・環境制御医学	法医学	難治性疾患病態制御学
総合診療内科学	呼吸器内科学	循環器内科学	消化器内科学	腎臓・高血圧内科学
代謝・内分泌内科学	脳神経内科学	血液・腫瘍内科学	ﾘｳﾏﾁ・膠原病・ｱﾚﾙｷﾞｰ内科学	小児科学
神経精神科学	放射線診断・IVR学	放射線治療学	皮膚科学	腎泌尿器外科学
消化器・一般外科学	心臓血管外科学	呼吸器外科学	小児外科学	乳腺・内分泌外科学
脳神経外科学	整形外科学	産婦人科学	眼科学	耳鼻咽喉科学
麻酔学	形成外科学	救急医学	ｽﾎﾟｰﾂ医学	臨床検査医学
応用分子腫瘍学	臨床腫瘍学	感染症学	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学	緩和医療学
疾患ﾊﾞｲｵﾏｰｶｰ・標的分子制御学	分子神経科学	医療情報処理技術応用研究分野	ﾊﾞｲｵｲﾝﾌｫﾏﾃｨｸｽ学	周産期発生病態解明学
最新医学研究ｺｰｽ	高度臨床医育成ｺｰｽ	未来がん医療ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ養成ｺｰｽ		

II. 事業の概要

1. 法人本部・教育・研究・診療活動

2024 年度の法人本部･教育･研究･診療活動における主な改革･施策の状況は、次のとおりです。

法人本部

- 寄附行為を全面的に改正
- DX 推進による業務効率の更なる向上
- 積極的な広報戦略によるブランド力の強化
- 執行役員体制充実による運営体制の更なる強化

医学部

- 日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価(追加審査)を受審
- オープンキャンパス・聖医祭を合同開催
- 大学入学共通テスト利用選抜の導入
- 米国メリーランド州立大学と研究協力を目指す合意書を締結

大学院

- 全専攻分野共通講義（総合教育科目・最新医学講義）においてオンデマンド講義（WEBCLASS）を実施

大学病院

- 診療部門に小児集中治療科を配置
- 補助人工心臓センター、脳血管内治療科、骨粗鬆症センター、在宅移行医療支援センター、かわさき小児救命・集中治療センター、ニューロモデュレーションセンターの開設
- 診療協働部門に診療看護師技術部を新設
- 診療報酬加算に係る多職種から成るチームを統合した新規部門として多職種連携部門を新設
- 救命救急センター充実段階評価で最高の S 評価を 7 年連続で獲得
- PHR 機能を含む患者向け公式アプリ「マリアンナアプリ」の登録者が 10,000 人を突破

西部病院①

- 初診受付時間の変更
- 第 1・3 土曜日の外来診療開始
- 地域連携セミナー開催（旭区、瀬谷区、大和市の 3 回）
- 市民公開講座実施（旭区民文化センター「サンハート」で現地開催）
- 病院機能評価（一般病院 2）の更新認定
- センハンスサージカルシステムの導入
- 横浜市産後母子ケア事業受託
- 3 階北病棟の再開棟（52 床中 24 床）
- お薬シート回収 BOX 設置

1. 法人本部・教育・研究・診療活動（2）

西部病院②

- 横浜市食品ロス削減 SDGs ロッカー設置
- 横浜健康経営認証 2025 クラス AA 認証
- 横浜市脱炭素取組宣言

多摩病院

- 広報活動の推進を図るために広報戦略室を設置市立 3 病院合同ヘリコプター搬送訓練
- 日本医療機能評価機構　病院機能評価認定
- ホームページに Chatbot の導入
- 公式 LINE・Instagram の導入

ブレスト＆イメージング先端医療センター附属クリニック

- 対面による乳がん地域連携の会の実施
- 自費検診全ての WEB 予約化

看護専門学校

- 入試方法の抜本的見直し

  （試験実施時期・回数・科目構成再検討、科目別評定平均廃止）
- 広報活動の強化

  （公式Web サイトや公式 LINE の活用、オープンキャンパス開催回数見直し・内容拡充）
- 国家試験対策の強化

  （卒業見込者全員の卒業と国家試験合格を目指し、カリキュラムと学習支援体制を再構築）
- 第 7 回関係者評価実施
- 法人運営 3 病院と近隣の生田病院を含めた合同キャンドルサービス実施

1-1 大 学 病 院

開　院　年　月　日	1974 年 2 月 12 日
許　可　病　床　数	955 床（稼動病床数 955 床）［一般病棟 924 床、精神病棟 31 床］
患　者　数	入院延人数　315,723 人　1 日入院平均　865 人 外来延人数　578,989 人　1 日外来平均　1,983 人
診　療　科　等	総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科、新生児科、小児集中治療科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線診断・IVR 科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア科 （35 診療科） 認知症（老年精神疾患）治療研究センター、統合失調症治療センター、呼吸器病センター、ハートセンター、心不全センター、補助人工心臓センター、ハイブリッド心臓大動脈治療センター、脳卒中センター、パーキンソン病治療センター、肝疾患医療センター、脊椎センター、人工関節センター、こどもセンター、こどものこころセンター、内分泌疾患センター、ゲノム医療推進センター（遺伝診療部、がんゲノム診療部）、緩和ケアセンター、感染症センター、糖尿病センター、てんかんセンター、胆道・膵臓病センター、リウマチ・膠原病生涯治療センター、神経内分泌腫瘍センター、細胞治療センター、脳血管内治療科、骨粗鬆症センター、在宅移行医療支援センター、かわさき小児救命・集中治療センター、ニューロモデュレーションセンター （29 診療連携部門） 救命救急センター、夜間急患センター、リハビリテーションセンター、健康診断センター、総合周産期母子医療センター、生殖医療センター、精神療法・ストレスケアセンター、腎臓病センター、腫瘍センター、内視鏡センター、超音波センター、画像センター、放射線治療センター、輸血部、臨床検査センター、手術・IVR センター、集中治療センター、中央器材室 （18 診療施設部門）

1-2 西 部 病 院

開 設 年 月 日	1987 年 5 月 25 日
許 可 病 床 数	518 床（稼動病床数 448 床）
患 者 数	入院延人数 128,534 人 1 日入院平均 352 人 外来延人数 229,789 人 1 日外来平均 824 人
診 療 科 等	総合診療内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、麻酔科、病理診断科 （25 診療科） 心臓血管センター、脳神経センター、救命救急センター（脳卒中センター）、周産期センター、足の外科センター、大腸センター、めまいセンター （7 診療施設。ただし、脳神経センターは休止中）

1-3 多 摩 病 院

開 院 年 月 日	2006 年 2 月 1 日
許 可 病 床 数	376 床（稼働病床数 369 床）
患 者 数	入院延人数 108,790 人 1 日入院平均 298 人 外来延人数 212,605 人 1 日外来平均 790 人
診 療 科 等	総合診療内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、アレルギー科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科 （32 診療科） 救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部 （4 診療施設）

1-4 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

開 院 年 月 日	2009 年 3 月 2 日
許 可 病 床 数	無床
外 来 患 者 数	外来延人数 34,349 人 1 日外来平均 128 人
診 療 科 等	乳腺外科、放射線科、腫瘍内科（乳腺疾患に特化した診療施設）

2. 学生在籍者数（2024 年 4 月 1 日時点）

(1) 医学部

学　年	定　員	学生数
1　学　年	117 名	121（ 72）名
2　学　年	115 名	122（ 67）名
3　学　年	115 名	111（ 69）名
4　学　年	115 名	125（ 74）名
5　学　年	115 名	106（ 61）名
6　学　年	115 名	118（ 55）名
合　計	692 名	703（ 398）名

(括弧内数字は女子学生数)

(2) 大学院

学　年	定　員	合　計
1　学　年	60 名	26（ 8）名
2　学　年	60 名	30（ 16）名
3　学　年	60 名	18（ 5）名
4　学　年	60 名	35（ 10）名
合　計	240 名	109（ 39）名

(括弧内数字は女子学生数)

(3) 看護専門学校

学　年	定　員	学生数
1　学　年	80 名	68（ 8）名
2　学　年	80 名	82（ 11）名
3　学　年	80 名	77（ 5）名
合　計	240 名	227（ 24）名

(括弧内数字は男子学生数)

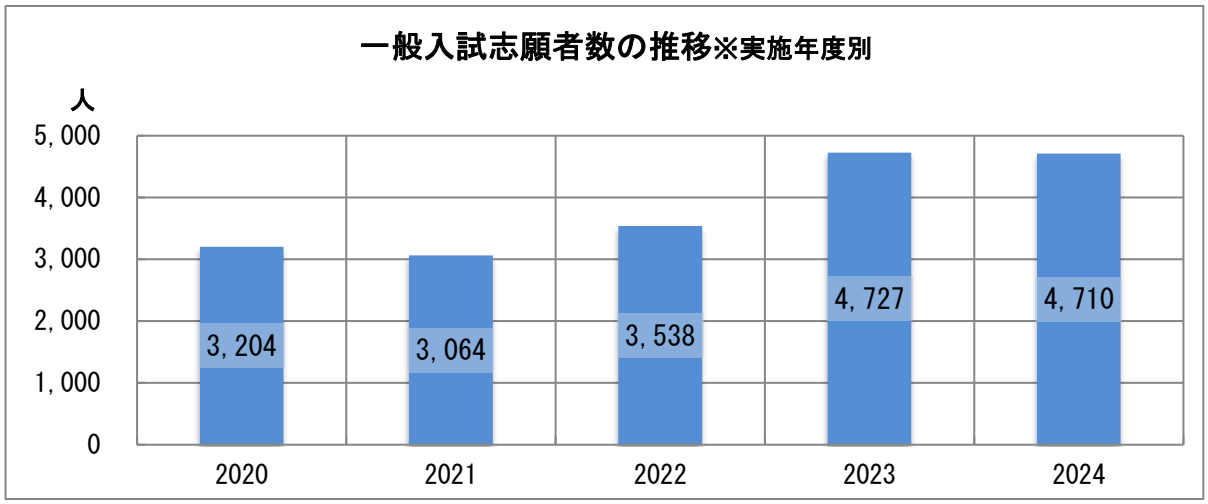
3. 入学試験状況

(1)　医学部

学校推薦型入学試験（地域枠含む）
　第１次試験　　2024 年 11 月 16 日（土）
　同合格発表　　2024 年 12 月　2 日（月）
一般入学試験（前期）
　第１次試験　　2025 年　2 月　6 日（木）
　同合格発表　　2025 年　2 月 12 日（水）
　第２次試験　　2025 年　2 月 15 日（土）・16 日（日）
　同合格発表　　2025 年　2 月 20 日（木）
一般入学試験（後期）
　第１次試験　　2025 年　3 月　6 日（木）
　同合格発表　　2025 年　3 月 11 日（火）
　第２次試験　　2025 年　3 月 14 日（金）
　同合格発表　　2025 年　3 月 21 日（金）
大学入学共通テスト試験
　第１次試験　　2025 年　1 月 18 日（土）・19 日（日）
　同合格発表　　2025 年　3 月 11 日（火）
　第２次試験　　2025 年　3 月 14 日（金）
　同合格発表　　2025 年　3 月 21 日（金）

区　分	募集人員	志願者数	入学者数(2025 年度)
推薦（一般公募制）	約 20 名	83（47）名	20（ 13）名
推薦(神奈川県地域枠)	7 名	22（10）名	7（ 3）名
一　般　（前　期）	約 75 名	3,104（1,469）名	75（ 44）名
一　般　（後　期）	約 10 名	1,606（ 796）名	10（ 0）名
大学入学共通テスト	約 5 名	519（ 269）名	5（ 5）名
合　計	117 名	5,334（2,591）名	117（ 65）名

(括弧内数字は女子学生数)

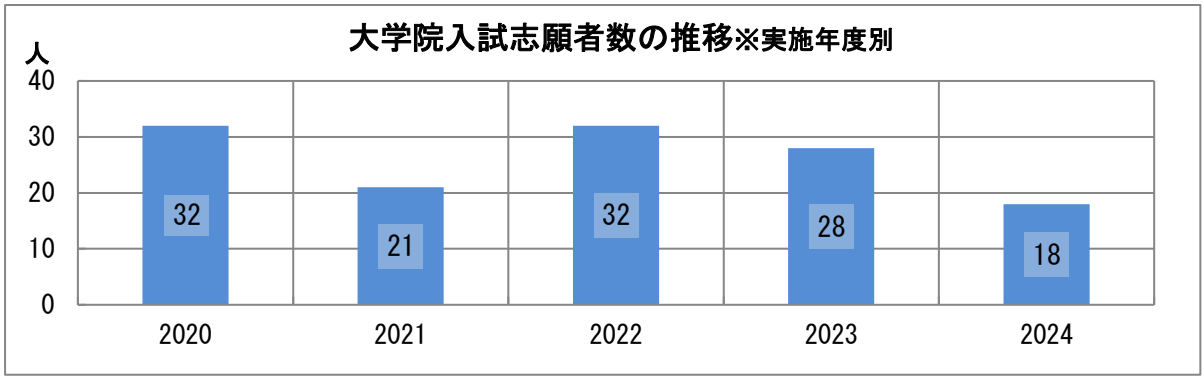


(2)　大学院

第１次入学試験　2024 年 11 月　1 日（金）
同合格発表　2024 年 12 月　5 日（木）
第２次入学試験　2025 年　1 月 10 日（金）
同合格発表　2025 年　2 月　6 日（木）

専　攻	募集人員	志願者数	入学者数(2025 年度)
医　科　学　系	60 名	18（ 6）名	18（ 6）名

(括弧内数字は女子学生数)

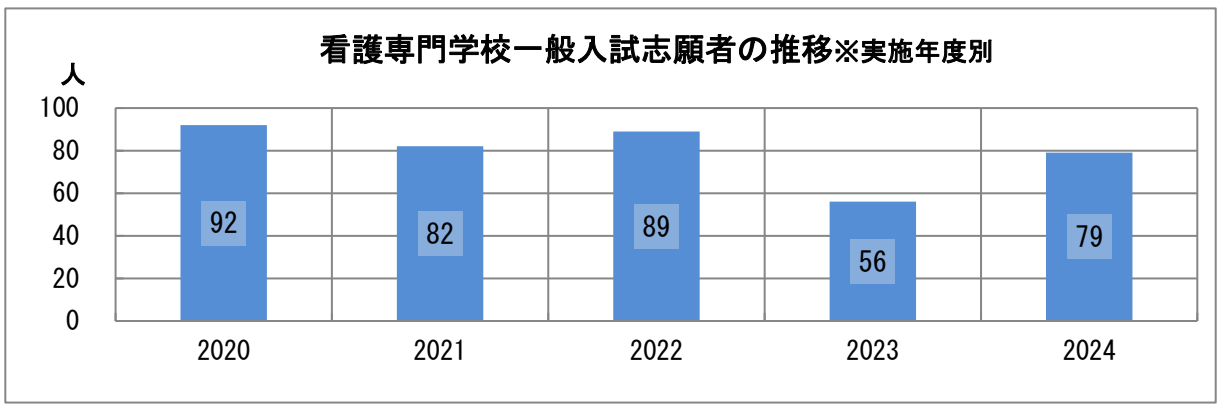


(3)　看護専門学校

社会人・学士入学試験　2024 年　9 月 28 日（土）
同合格発表　2024 年 10 月　1 日（火）
推薦入学試験　2024 年 10 月 19 日（土）
同合格発表　2024 年 10 月 22 日（火）
一般入学試験（Ⅰ期）　2024 年 11 月　9 日（土）
同合格発表　2024 年 11 月 13 日（水）
一般入学試験（Ⅱ期）　2025 年　2 月　8 日（土）
同合格発表　2025 年　2 月 12 日（水）
一般入学試験（Ⅲ期）　2025 年　2 月 22 日（土）
同合格発表　2025 年　2 月 26 日（水）

区　分	募集人員	志願者数	入学者数(2025 年度)
社　会　人　・　学　士		65 名	59（ 2）名
推　　薦		18 名	12（ 1）名
一　般　（　Ⅰ　期　）		45 名	13（ 1）名
一　般　（　Ⅱ　期　）		23 名	10（ 2）名
一　般　（　Ⅲ　期　）		11 名	1（ 0）名
合　　計	全体で 80 名	162 名	95（ 6）名

(括弧内数字は男子学生数)

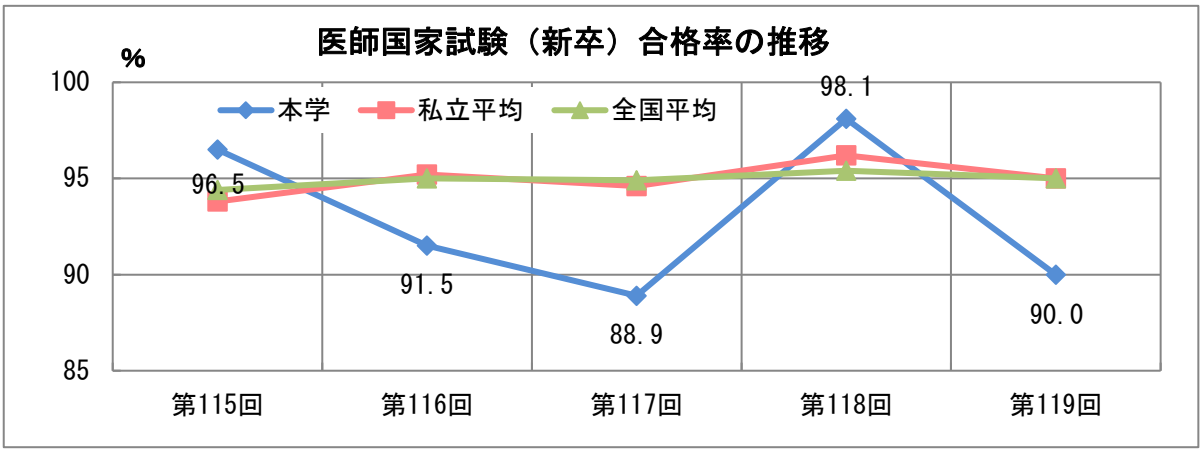


4. 国家試験合格状況

(1)　第 119 回医師国家試験合格状況

第 119 回医師国家試験は、本学の合格者数は 102 名、合格率 90.3%となりました。

	新　卒	既　卒	全　体
受　験　者　数	110 名	3 名	113 名
合　格　者　数	99 名	3 名	102 名
本　学　合　格　率	90.0%	100.0%	90.3%
私立医科大学平均合格率	95.0%	66.4%	93.3%
全　国　平　均　合　格　率	95.0%	59.0%	92.3%

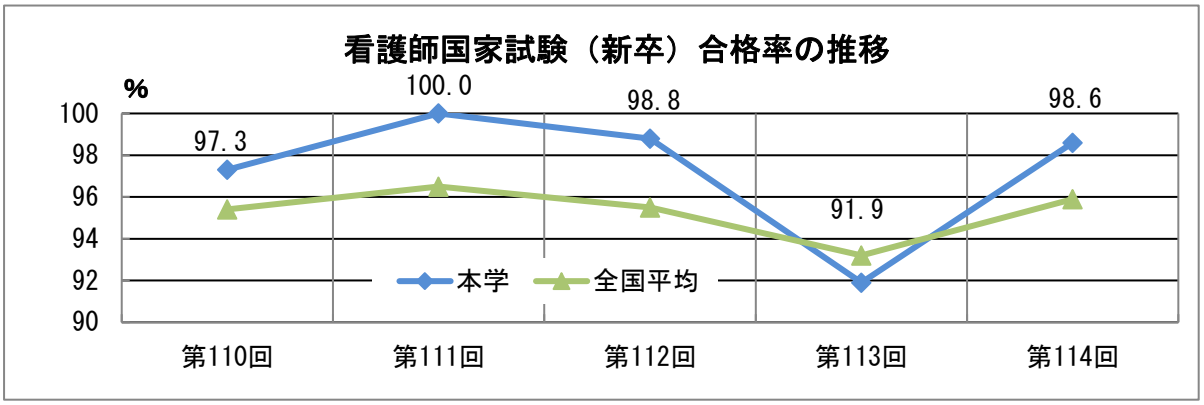


(2)　第 114 回看護師国家試験合格状況

第 114 回看護師国家試験の合格率は 98.7%で、全国平均の合格率を上回る結果となりました。

なお、新卒の合格者 71 名のうち 63 名が本学附属病院等に入職しました。

	新　卒	既　卒	全　体
受　験　者　数	72 名	6 名	78 名
合　格　者　数	71 名	6 名	77 名
本　学　合　格　率	98.6%	100%	98.7%
全　国　平　均　合　格　率	95.9%	44.9%	90.1%



5. 博士(医学)の学位授与状況

課　程　修　了　に　よ　る　も　の	25 件
論　文　提　出　に　よ　る　も　の	7 件

6. 補助金交付状況

(1) 国庫補助金・地方公共団体補助金等交付状況

2024 年度の国庫補助金・地方公共団体補助金等の交付状況は、次のとおりです。

部門	補助者	件数	交付金額
医学部	国庫補助金 神奈川県 川崎市 私学事業団	3件 0件 1件 0件	1,951,852千円
大学病院	国庫補助金 神奈川県 川崎市 その他	5件 11件 8件 0件	573,169千円
西部病院	国庫補助金 神奈川県 横浜市 その他	2件 7件 6件 0件	132,280千円
多摩病院	国庫補助金 神奈川県 川崎市 その他	3件 5件 3件 0件	769,274千円
看護専門学校	神奈川県 川崎市	4件 2件	45,232千円
プレスト&イメージングセンター	国庫補助金 神奈川県	0件 1件	10千円
法人合計			**3,471,817千円**
内訳	国庫補助金(私学事業団含)		2,037,717千円
	地方公共団体補助金		1,434,100千円
	その他補助金		0千円

(2) 文部科学省科学研究費補助金申請・交付状況

2024 年度科学研究費補助金は、次のとおり申請 236 件に対し新規採択が 44 件、継続採択が 80 件の合計 124 件に対し 151,186 千円が交付されました。なお申請件数に対する採択率は 18.64%です。

	新規			継続	
研究種目	申請件数	採択件数	金額	採択件数	金額
新学術領域研究	0件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(S)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(A)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(B)	3件	0件	0千円	5件	21,000千円
基盤研究(C)	175件	28件	38,800千円	58件	51,500千円
挑戦的研究(開拓)	1件	0件	0千円	0件	0千円
挑戦的研究(萌芽)	8件	1件	3,000千円	0件	0千円
若手研究	45件	14件	23,100千円	15件	12,200千円
研究活動スタート支援	4件	1件	1,100千円	0件	0千円
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	0件	0件	0千円	1件	0千円
学術変革領域研究(B)	0件	0件	0千円	0件	0千円
特別研究員奨励費	0件	0件	0千円	1件	486千円
合計	**236件**	**44件**	**66,000千円**	**80件**	**85,186千円**

7. 主な施設・設備の更新等

2024 年度における主な施設・設備の更新等は、次のとおりです。

◆ 大学・大学院

設備関係	学内 LAN コアスイッチ更新
	特別教室施設聖堂パッケージエアコン更新
	シミュレーターSim Baby 一式取得
	教育棟 302 教室・201 教室 AV 設備更新

◆ 大学病院

施設関係	外来棟(旧病院別館)・エントランス棟（新築）の竣工・稼働
設備関係	医療情報システム外来棟対応機能追加
	診察表示システム一式取得
	デジタルX線透視撮影システム CUREVISTA Open 更新
	1 次オンライン及び 2 次オフラインバックアップ対応

◆ 西部病院

設備関係	麻酔システム更新
	4K3D カメラシステム更新

◆ 多摩病院

設備関係	タンゴオフサルミックレーザー(眼科用パルスレーザー手術装置)更新
	医薬品在庫管理システム取得

Ⅲ．財務の概要

1．財務の概況

2024 年度は、年度当初に今後 3 年間の収支改善計画を策定し、その収支改善目標値の達成に向け各附属病院の稼働状況をきめ細かく把握する会議体を新たに設置しました。法人全体の基本金組入前収支差額は▲3,135 百万円（うち収益事業会計［多摩病院］収支差額▲1,634 百万円）と前年度から 2,228 百万円収支改善したものの、引き続き経営状況は極めて厳しいものとなっています。

主な増減要因としましては、収入では前年度閉院した東横病院の不動産売却による売却差額 5,871 百万円、医療収入 76,854 百万円（前年比 1,465 百万円増）、コロナ関連支援金や経常費等補助金減少など補助金 3,472 百万円（前年比 915 百万円減）、支出では東横病院の機器備品やソフトウェアの除却、大学病院の新外来棟（旧病院別館改修）と病院本館等解体工事着手に伴う建物等の除却などで処分差額 2,511 百万円（前年比 2,401 百万円増）、新外来棟およびエントランス棟への移転・移設費や臨時清掃委託費、什器備品の購入のほか附属病院全体の医薬品等直接材料費の増加など医療経費 49,314 百万円（前年比 286 百万円増）、過年度コロナ関連支援金返還などで管理経費 2,689 百万円（前年比 631 百万円）、ベア評価手当・処遇改善手当のほか医師の働き方改革に伴う諸手当の支給など人件費 38,517 百万円（前年比 465 百万円増）となっています。

なお収支差額に減価償却額と処分差額を足し戻した償却前収支差額は、2024 年度は 4,219 百万円のプラスとなりました。

エネルギー価格の高騰は、政府による断続的な供給事業者への電気・ガス価格激変緩和対策補助金により 2024 年度もある程度抑制されましたが、原材料高と日米金利差に伴う円安の進行が諸物価を押し上げており、人口減少等社会構造の変化による労務費の増加もあいまって、法人の支出増に影響していますが、菅生キャンパスリニューアル計画は新外来棟とエントランス棟が竣工・稼働を迎えるなど計画通りに進捗しています。

そうした状況において､附属病院等では患者数がコロナ禍前の 2019 年度と比較して入院が 93.3%、外来が 88.9%まで回復したことや、診療単価の上昇により医療収入が増加しています。

法人全体の財務状況を鑑み、前年度に引き続き設備投資や経常経費は抑制しましたが、医療機器の更新以外に、医療 DX を進めるうえでのサイバーセキュリティ対策としてオフラインバックアップシステムの導入や、附属病院自動精算機の新紙幣対応、教室設置ノート PC の Windows11 搭載機への更新など最低限必要とされるものを実施しました。こうした設備投資や、運転資金に充当するため、新型コロナ関連公的支援金を原資とした特定資産を取崩しています。

今後の借入金の返済本格化を見据え、東横病院の不動産売却額と 2024 年度で募集を終了した 50 周年記念事業募金の一部を施設設備引当特定資産に繰入れたほか、遺贈に伴い教育研究支援を目的とした特定資産を新設しました。

また、前年度より引き続き、DX につながる業務効率改善に部署横断的に取り組み、ペーパレス化や RPA、チャットボットの導入に加え、生成 AI の活用などを進めています。

大変厳しい経営状況ではありますが、改善する施策を着実にうちつつ、大学と病院に寄せられた大きな期待と信用に応える取組みを今後も継続していきます。

2. 学校法人会計

(1) 資金収支計算書の概要
資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

（収入の部）　（単位　百万円）

勘定科目	2024年度決算①	2024年度補正②	2023年度決算③	増減(①－②)	増減(①－③)
学生生徒等納付金収入	4,260	4,260	4,230	0	30
寄付金収入	454	461	374	△ 7	80
補助金収入	2,703	2,427	3,161	276	△ 458
医療収入	66,167	65,653	65,564	514	603
その他の収入	26,927	26,493	18,764	434	8,163
資金収入調整勘定	△ 12,514	△ 12,705	△ 13,047	191	533
当年度収入合計（A）	**87,997**	**86,589**	**79,046**	**1,408**	**8,951**
借入金等収入(1)	7,300	7,300	600	0	6,700
前年度繰越支払資金	11,517	11,517	17,890	0	△ 6,373
収入の部合計	**106,814**	**105,406**	**97,536**	**1,408**	**9,278**

（支出の部）

勘定科目	2024年度決算①	2024年度補正②	2023年度決算③	増減(①－②)	増減(①－③)
人件費支出	31,898	31,892	32,401	6	△ 503
教育研究経費支出	3,070	3,082	2,694	△ 12	376
医療経費支出	38,632	38,881	36,845	△ 249	1,787
管理経費支出	2,238	2,156	1,778	82	460
施設・設備関係支出	6,978	7,029	1,388	△ 51	5,590
借入金等利息支出	434	425	342	9	92
その他の支出	23,865	15,103	23,383	8,762	482
資金支出調整勘定	△ 14,148	△ 14,068	△ 13,097	△ 80	△ 1,051
当年度支出合計（B）	**92,967**	**84,500**	**85,734**	**8,467**	**7,233**
借入金等返済支出(2)	285	285	285	0	0
次年度繰越支払資金	13,562	20,621	11,517	△ 7,059	2,045
支出の部合計	**106,814**	**105,406**	**97,536**	**1,408**	**9,278**

当年度資金差額(A)－(B)	**△ 4,970**	**2,089**	**△ 6,688**	**△ 7,059**	**1,718**
借入金差額 (1)－(2)	**7,015**	**7,015**	**315**	**0**	**6,700**

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による資金収支		2024決算 ①	2024補正 ②	2023決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金収入	4,260	4,260	4,230	0	30
	寄付金収入	177	181	270	▲ 4	▲ 93
	経常費等補助金収入	2,558	2,280	3,003	278	▲ 445
	医療収入	66,167	65,653	65,564	514	603
	その他の収入	2,767	2,501	2,692	266	75
	収入合計 (A)	75,929	74,875	75,759	1,054	170
支出	人件費支出	31,898	31,892	32,401	6	▲ 503
	教育研究経費支出	3,070	3,082	2,694	▲ 12	376
	医療経費支出	38,632	38,881	36,845	▲ 249	1,787
	管理経費支出	2,238	2,156	1,764	82	474
	支出合計 (B)	75,838	76,011	73,704	▲ 173	2,134
調整勘定等 (C)		849	818	▲ 592	31	1,441
資金差額 (D=A-B+C)		940	▲ 318	1,463	1,258	▲ 523
●施設整備等活動による資金収支						
収入	寄付金・補助金収入	421	423	263	▲ 2	158
	その他の収入	6,885	6,886	2	▲ 1	6,883
	収入合計 (E)	7,307	7,309	265	▲ 2	7,042
支出	施設・設備関係支出	6,978	7,029	1,388	▲ 51	5,590
	その他の支出	8,081	0	0	8,081	8,081
	支出合計 (F)	15,059	7,029	1,388	8,030	13,671
調整勘定等 (G)		579	627	▲ 8,434	▲ 48	9,013
資金差額 (H=E-F+G)		▲ 7,173	907	▲ 9,557	▲ 8,080	2,384
資金差額小計 (D+H)		▲ 6,233	589	▲ 8,094	▲ 6,822	1,861
●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等						
収入	借入金等収入 (I)	7,300	7,300	600	0	6,700
	収益事業収入	0	0	0	0	0
	その他の収入	4,206	3,962	3,202	244	1,004
	収入合計 (J)	11,506	11,262	3,802	244	7,704
支出	借入金等返済支出 (K)	285	285	285	0	0
	借入金等利息支出	434	425	342	9	92
	その他の支出	2,509	2,037	1,454	472	1,055
	支出合計 (L)	3,228	2,747	2,081	481	1,147
調整勘定等 (M)		0	0	0	0	0
資金差額 (N=J-L+M)		8,278	8,515	1,721	▲ 237	6,557
前年度繰越支払資金 (O)		11,517	11,517	17,890	0	▲ 6,373
次年度繰越支払資金 (P)		13,562	20,621	11,517	▲ 7,059	2,045
支払資金増減 (Q=D+H+N=P-O)		2,045	9,104	▲ 6,373	▲ 7,059	8,418
内訳	借入金差額 (R=I-K)	7,015	7,015	315	0	6,700
	当年度資金差額(S=Q-R)	▲ 4,970	2,089	▲ 6,688	▲ 7,059	1,718

2024年度、教育活動(研究・診療含む)資金収支は医療収入増加を直接材料やリニューアル事業費、補助金返還等の経費増加が上回りましたが、期末未払金の増加により資金差額は940百万円(D)となりました。

機器備品の調達等、資本的支出を含む施設整備等活動の資金差額は▲7,173百万円(H)で、東横病院不動産売却収入や、大学病院新外来棟・エントランス棟竣工・稼働等の施設・設備関係支出との差異によるものです。教育と施設整備を合わせた資金差額は▲6,233百万円(D+H)です。

借入・貸付とその返済、利息や収益事業からの繰入を含む財務活動等の資金差額8,278百万円(N)と(D+H)を合算した資金差額は、前年度から2,045百万円(Q)増加し、次年度へは13,562百万円(P)の支払資金を繰越すことになります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金5,614百万円を上回っています。)

借入金等収入(I)7,300百万円はリニューアル事業計画に係るものです。

収益事業会計として区分経理している多摩病院の当期純利益は▲1,634百万円とマイナスになったため、学校会計への繰入れはありません。

借入金差額(借入収入-返済支出)7,015百万円(R)を除いた当年度の資金差額は▲4,970百万円(S)となります。

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動（①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動）と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス（いわゆる、黒字なのか、赤字なのか）を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位（百万円）

●経常収支（教育活動収支）		2024決算 ①	2024補正 ②	2023決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金	4,260	4,260	4,230	0	30
	寄付金	184	188	272	▲ 4	▲ 88
	経常費等補助金	2,558	2,280	3,003	278	▲ 445
	医療収入	66,167	65,653	65,564	514	603
	その他の収入	2,767	2,498	2,693	269	74
	収入合計 (A)	75,936	74,879	75,762	1,057	174
支出	人件費	31,939	31,892	32,382	47	▲ 443
	教育研究経費	3,461	3,471	3,095	▲ 10	366
	医療経費	42,843	43,092	42,924	▲ 249	▲ 81
	管理経費	2,477	2,395	1,833	82	644
	その他の支出	11	11	4	0	7
	（減価償却額）	(4,576)	(4,610)	(6,428)	▲ 34	▲ 1,852
	支出合計 (B)	80,731	80,861	80,238	▲ 130	493
収支差額 (C=A-B)		▲ 4,795	▲ 5,982	▲ 4,476	1,187	▲ 319
●経常収支（教育活動外収支） ※財務活動収支、収益事業活動収支						
収入	受取利息・配当金他	48	45	36	3	12
	収益事業収入	0	0	0	0	0
	収入合計 (D)	48	45	36	3	12
支出	借入金等利息	434	425	342	9	92
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出合計 (E)	434	425	342	9	92
収支差額 (F=D-E)		▲ 386	▲ 380	▲ 306	▲ 6	▲ 80
経常収支差額 (G=C+F)		▲ 5,181	▲ 6,362	▲ 4,782	1,181	▲ 399
●特別収支 ※臨時的な活動収支						
収入	資産売却差額	5,876	5,877	2	▲ 1	5,874
	寄付金・補助金収入	453	460	364	▲ 7	89
	その他の収入	4	4	0	0	4
	収入合計 (H)	6,333	6,341	366	▲ 8	5,967
支出	資産処分差額	2,511	1,914	110	597	2,401
	その他の支出	143	0	14	143	129
	支出合計 (I)	2,654	1,914	124	740	2,530
特別収支差額 (J=H-I)		3,679	4,427	242	▲ 748	3,437
基本金組入前当年度収支差額(K=G+J=Q-R)		▲ 1,502	▲ 1,935	▲ 4,540	433	3,038
基本金組入額 (L)		▲ 336	▲ 74	▲ 3,381	▲ 262	3,045
当年度収支差額(M=K+L)		▲ 1,838	▲ 2,009	▲ 7,921	171	6,083
前年度繰越収支差額(N)		▲ 65,919	▲ 65,919	▲ 58,049	0	▲7,870
基本金取崩額 (O)		16,682	20,262	51	▲ 3,580	16,631
翌年度繰越収支差額 (P=M+N+O)		▲ 51,075	▲ 47,666	▲ 65,919	▲ 3,409	14,844
（参考）						
事業活動収入計 (Q)		82,317	81,265	76,164	1,052	6,153
事業活動支出計 (R)		83,819	83,200	80,704	619	3,115

学校法人の本業である教育活動（研究・診療含む）の収入は、コロナ関連支援金や経常費等補助金の減少も、医療収入増により前年比増の75,936百万円(A)となりました。

支出は、東横病院経費の減少（人員の多摩病院異動や、前年度閉院に伴う耐用年数短縮処理等）も、新外来棟・エントランス棟竣工・稼働に伴う什器備品購入や清掃・移転等委託費、医薬品や衛生材料費など材料費増、コロナ関連支援金（補助金）の返還で増加し、教育活動収支差額は、前年比▲319百万円の▲4,795百万円（C）となりました。

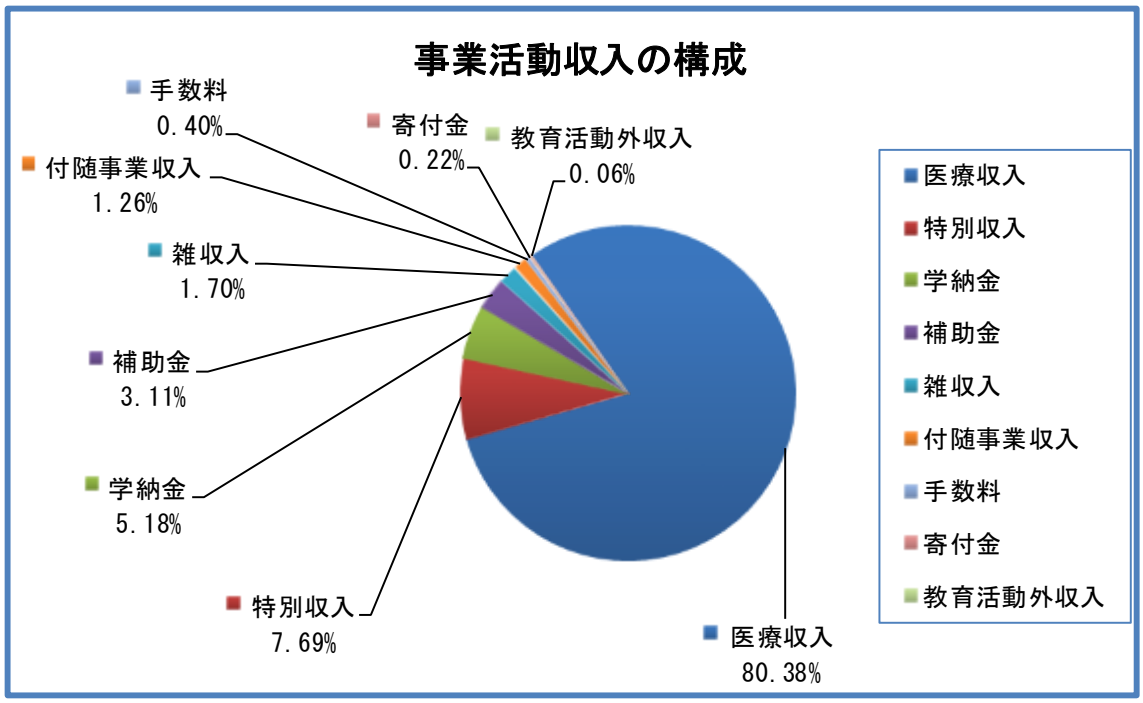
また、財務活動による収入48百万円(D)は前年度に比べ増加したのに対し、リニューアル事業借入と金利上昇による借入金等利息434百万円と支出増のため、教育活動外収支差額は▲386百万円(F)、教育活動収支差額と合わせた経常収支差額は▲5,181百万円(G)となりました。

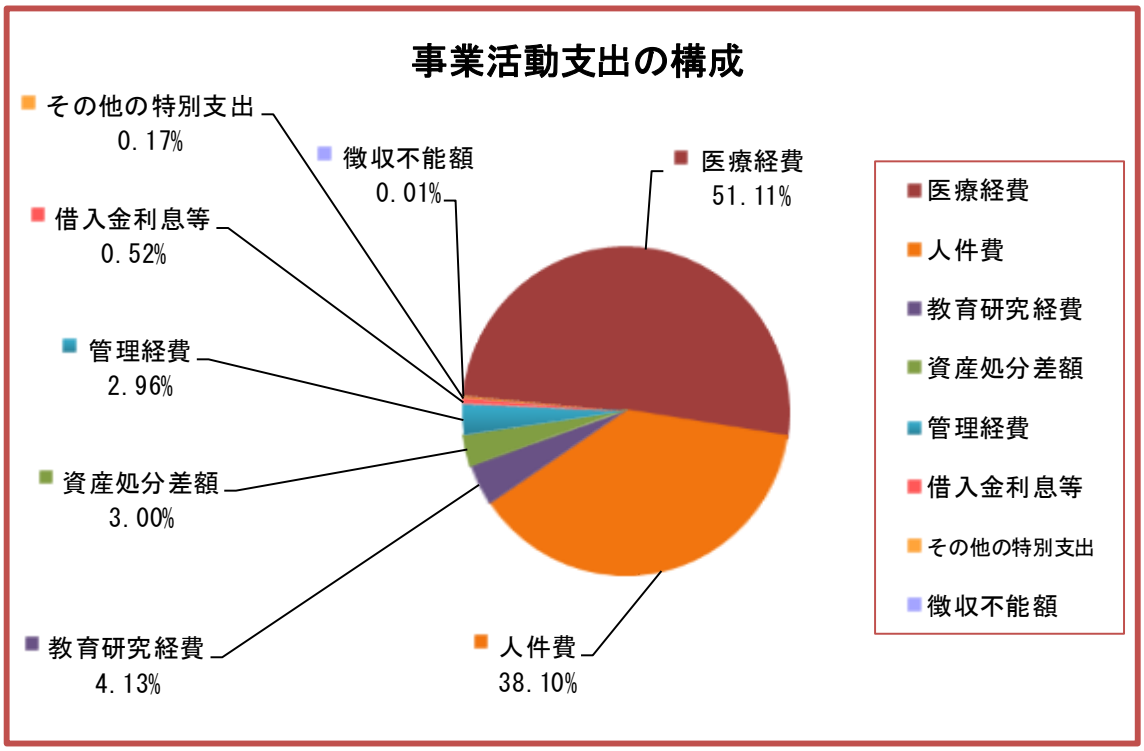
東横病院不動産売却差額や、50周年記念事業募金等収入に対し、大学病院本館解体、外来棟へ改修した病院別館部分除却等の資産処分差額などを合わせた臨時的な活動による特別収支差額は3,679百万円(J)となりました。

この結果、事業活動収支差額は、前年度を3,038百万円上回る▲1,502百万円(K)となりました。

また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は、▲51,075百万円(P)となっています。

なお、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を6,153百万円上回り、82,317百万円(Q)となりました。


事業活動収入の構成
手数料
0.40%
寄付金
0.22%
教育活動外収入
0.06%
付随事業収入
1.26%
雑収入
1.70%
補助金
3.11%
学納金
5.18%
特別収入
7.69%
医療収入
80.38%
医療収入
特別収入
学納金
補助金
雑収入
付随事業収入
手数料
寄付金
教育活動外収入


事業活動支出の構成
その他の特別支出
0.17%
徴収不能額
0.01%
医療経費
51.11%
借入金利息等
0.52%
管理経費
2.96%
資産処分差額
3.00%
教育研究経費
4.13%
人件費
38.10%
医療経費
人件費
教育研究経費
資産処分差額
管理経費
借入金利息等
その他の特別支出
徴収不能額

(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B／S（バランスシート）とも言われ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。 固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。 負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。（事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額（従来の帰属収支差額）は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。）

単位（百万円）

（資産の部）	本年度末	前年度末	増減	（負債および純資産の部）	本年度末	前年度末	増減
固定資産	83,761	79,965	3,796	固定負債	60,073	53,565	6,508
有形固定資産	64,952	65,661	▲ 709	長期借入金	47,435	40,776	6,659
土地・建物・構築物	84,876	98,556	▲ 13,680	退職給与引当金	12,637	12,785	▲ 148
機器備品	26,202	27,751	▲ 1,549	その他の負債	1	4	▲ 3
その他の資産	2,546	4,146	▲ 1,600	流動負債	17,074	15,582	1,492
減価償却累計額	▲ 48,672	▲ 64,792	16,120	短期借入金	642	285	357
特定資産	15,341	10,254	5,087	未払金	14,667	13,510	1,157
その他の固定資産	3,468	4,050	▲ 582	その他の負債	1,765	1,787	▲ 22
有価証券	116	116	0	負債の部合計	77,147	69,147	8,000
収益事業元入金	111	111	0	基本金	86,683	103,029	▲ 16,346
その他の資産	3,241	3,823	▲ 582	1号基本金	80,562	96,908	▲ 16,346
				2号基本金	0	0	0
流動資産	28,994	26,292	2,702	3号基本金	507	507	0
現金・預金	13,562	11,517	2,045	4号基本金	5,614	5,614	0
その他の資産	15,432	14,775	657	繰越収支差額	▲ 51,075	▲ 65,919	14,844
				純資産の部合計	35,608	37,110	▲ 1,502
合　計	112,755	106,257	6,498	合　計	112,755	106,257	6,498

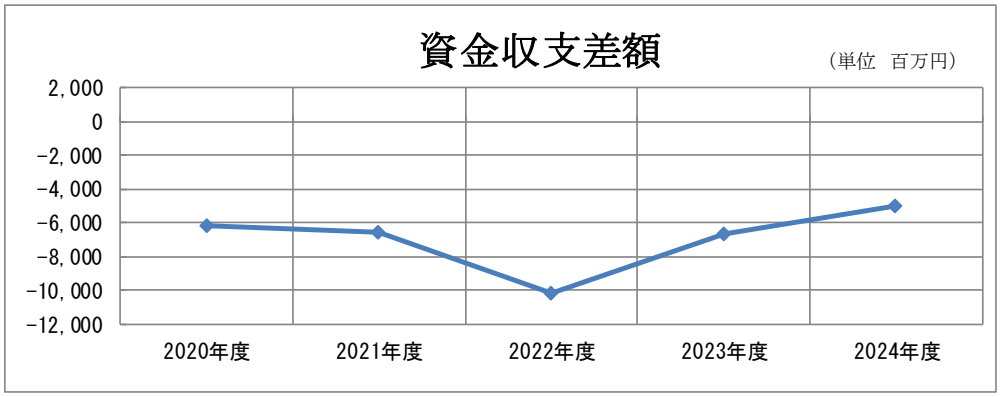
(5) 財務比率などの推移

①資金収支差額推移表

（単位　百万円）

勘　定　科　目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学　　納　　金	4,311	4,311	4,252	4,230	4,260
補　　助　　金	13,122	8,833	5,378	3,161	2,703
医　療　収　入	54,286	60,423	60,701	65,564	66,167
そ　　の　　他	1,363	10,005	9,933	6,091	14,867
資 金 収 入 計	73,082	83,572	80,264	79,046	87,997
人　　件　　費	29,261	30,761	31,656	32,401	31,898
教育研究経費	2,795	2,641	3,151	2,694	3,070
医　療　経　費	30,757	32,884	35,855	36,845	38,632
そ　　の　　他	16,394	23,871	19,795	13,794	19,367
資 金 支 出 計	79,207	90,157	90,457	85,734	92,967
資金収支差額	△ 6,125	△ 6,585	△ 10,193	△ 6,688	△ 4,970

※繰越支払資金･借入金収入及び返済支出は含まず

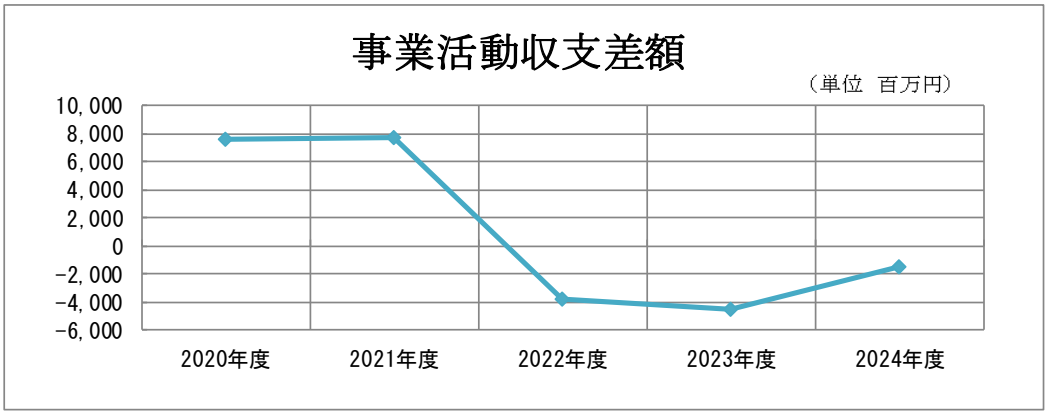


②事業活動収支差額推移表

（単位　百万円）

勘　定　科　目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
学　　納　　金	4,311	4,311	4,252	4,230	4,260
補　　助　　金	13,122	8,833	5,378	3,161	2,703
医　療　収　入	54,286	60,423	60,701	65,564	66,167
そ　　の　　他	3,897	5,382	2,973	3,209	9,187
事業活動収入計	75,616	78,949	73,304	76,164	82,317
人　　件　　費	29,564	30,978	31,881	32,382	31,939
教育研究経費	3,262	3,122	3,553	3,095	3,461
医　療　経　費	32,812	35,122	38,787	42,924	42,843
そ　　の　　他	2,397	2,044	2,842	2,303	5,576
事業活動支出計	68,035	71,266	77,063	80,704	83,819
事業活動収支差額	7,581	7,683	△ 3,759	△ 4,540	△ 1,502

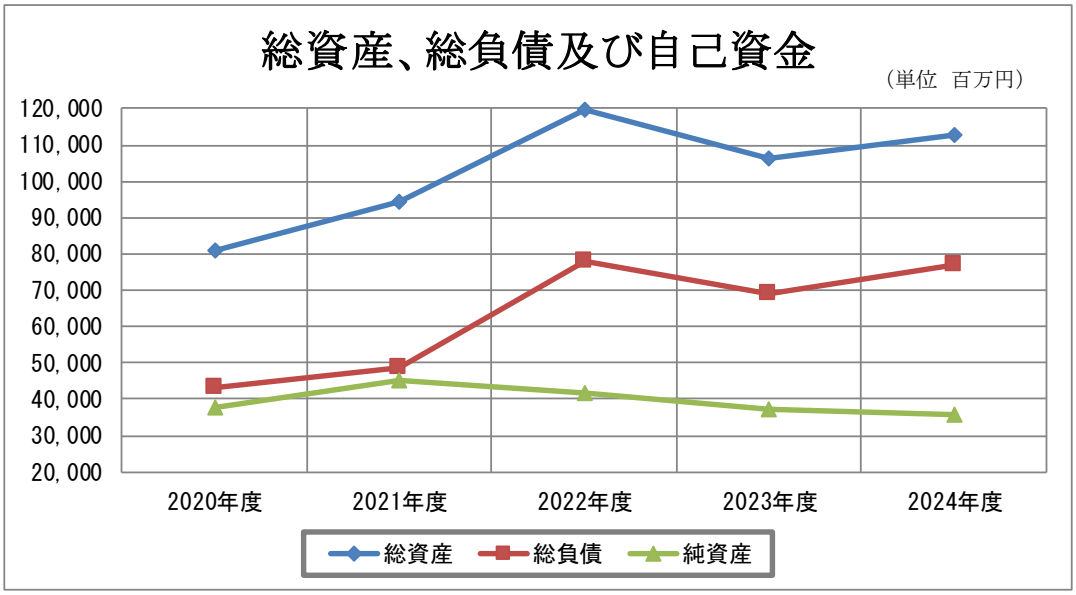
※事業活動収支差額
　＝事業活動収入－事業活動支出



③財政状況表

（単位　百万円）

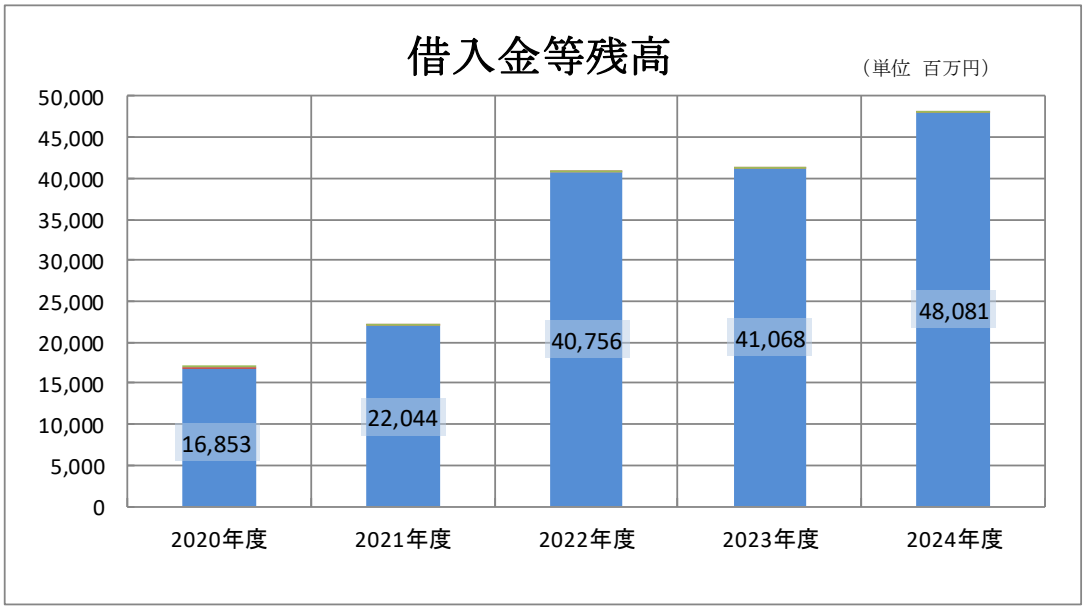
科目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
固定資産	56,016	67,132	86,850	79,965	83,761
流動資産	25,101	27,124	32,721	26,292	28,994
総資産	81,117	94,256	119,571	106,257	112,755
固定負債	28,688	34,381	53,347	53,565	60,073
流動負債	14,703	14,466	24,574	15,582	17,074
総負債	43,391	48,847	77,921	69,147	77,147
純資産	37,726	45,409	41,650	37,110	35,608



④借入金等残高推移表

（単位　百万円）

科目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
借入金	16,837	22,031	40,746	41,061	48,077
学校債	0	0	0	0	0
割賦	16	13	10	7	4
合計	16,853	22,044	40,756	41,068	48,081



⑤財務比率一覧

2020 年度からの計算書関連比率表

(1)貸借対照表関係比率

No.	比率名	算式	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	指標
1	固定資産構成比率	固定資産／総資産	69.1%	71.2%	72.6%	75.3%	74.3%	↓
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	54.4%	55.4%	59.1%	61.8%	57.6%	↓
3	特定資産構成比率	特定資産／総資産	11.4%	12.8%	10.1%	9.6%	13.6%	↑
4	流動資産構成比率	流動資産／総資産	30.9%	28.8%	27.4%	24.7%	25.7%	↑
5	固定負債構成比率	固定負債／(総負債＋純資産)	35.4%	36.5%	44.6%	50.4%	53.3%	↓
6	流動負債構成比率	流動負債／(総負債＋純資産)	18.1%	15.3%	20.6%	14.7%	15.1%	↓
7	内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	-28.6%	-29.0%	-40.0%	-44.5%	-42.7%	↑
8	運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／経常支出	-13.2%	-18.1%	-43.1%	-40.6%	-41.6%	↓
9	純資産構成比率	純資産／(総負債＋純資産)	46.5%	48.2%	34.8%	34.9%	31.6%	↓
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債＋純資産)	-68.3%	-53.5%	-48.5%	-62.0%	-45.3%	↑
11	固定比率	固定資産／純資産	148.5%	147.8%	208.5%	215.5%	235.2%	↑
12	固定長期適合率	固定資産／(純資産＋固定負債)	84.3%	84.1%	91.4%	88.2%	87.5%	↓
13	流動比率	流動資産／流動負債	170.7%	187.5%	133.2%	168.7%	169.8%	↑
14	総負債比率	総負債／総資産	53.5%	51.8%	65.2%	65.1%	68.4%	↓
15	負債比率	総負債／純資産	115.0%	107.6%	187.1%	186.3%	216.7%	↓
16	前受金保有率	現金預金／前受金	1236.9%	1043.7%	1901.0%	1315.5%	1532.0%	↑
17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	－	－	－	－	－	－
18	基本金比率	基本金／基本金要組入額	87.3%	81.8%	71.1%	73.1%	71.0%	↓
19	減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	71.1%	72.2%	50.6%	54.0%	46.0%	↓
20	積立率	運用資産／要積立額	27.5%	28.5%	38.5%	26.8%	44.0%	↑

・運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

・要積立額＝減価償却累計額(ｿﾌﾄｳｪｱ等含む)＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

(2)事業活動収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	指標
1	人件費比率	人件費／経常収入	39.72%	39.76%	43.72%	42.72%	42.03%	↑
2	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	685.83%	718.58%	749.75%	765.57%	749.66%	↑
3	教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	48.47%	49.09%	58.07%	60.71%	60.94%	↑
4	管理経費比率	管理経費／経常収入	2.93%	2.49%	3.67%	2.42%	3.26%	↓
5	借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.09%	0.10%	0.14%	0.45%	0.57%	↓
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	10.03%	9.73%	-5.13%	-5.96%	-1.82%	↑
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	90.22%	93.47%	111.24%	110.88%	102.24%	↑
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	5.79%	5.53%	5.83%	5.58%	5.61%	↓
9	寄付金比率	寄付金／事業活動収入	0.61%	0.54%	0.61%	0.63%	0.60%	↓
10	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金／経常収入	0.45%	0.34%	0.32%	0.36%	0.24%	↓
11	補助金比率	補助金／事業活動収入	17.35%	11.19%	7.34%	4.15%	3.28%	↓
12	経常補助金比率	教育活動収支の補助金／経常収入	16.21%	10.21%	7.16%	3.96%	3.37%	↓
13	基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	0.27%	3.42%	5.49%	4.44%	0.41%	↑
14	減価償却額比率	減価償却額／経常支出	3.71%	3.69%	3.96%	7.98%	5.64%	↑
15	経常収支差額比率	経常収支差額／経常収入	8.76%	8.54%	-5.61%	-6.31%	-6.82%	↓
16	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額／教育活動収入計	7.25%	5.53%	-5.51%	-5.91%	-6.31%	↓

(注) ・経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

・経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(3)活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	指標
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計	7.59%	9.77%	3.58%	1.93%	1.24%	↓

(注)教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

3. 収益事業会計（多摩病院）

(1) 貸借対照表

（資産の部）	本年度末	前年度末	増減	（負債および純資産の部）	本年度末	前年度末	増減
流動資産	2,856	2,911	▲ 55	流動負債	3,949	2,784	1,165
現金・預金	974	904	70	未払金他	3,949	2,784	1,165
未収入金	1,750	1,891	▲ 141	固定負債	2,556	2,248	308
その他	132	116	16	退職給与引当金	2,556	2,248	308
固定資産	1,075	1,181	▲ 106	負債の部合計	6,505	5,032	1,473
有形固定資産	3,115	2,846	269	純資産	▲ 2,574	▲ 940	▲ 1,634
減価償却累計額	▲ 2,125	▲ 1,713	▲ 412	元入金	111	111	0
その他	85	48	37	繰越利益剰余金	▲ 2,685	▲ 1,051	▲ 1,634
			0	純資産の部合計	▲ 2,574	▲ 940	▲ 1,634
合　計	3,931	4,092	▲ 161	合　計	3,931	4,092	▲ 161

(2) 損益計算書

		2024決算 ①	2024補正 ②	2023決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収益	医療収入	10,687	10,532	9,825	155	862
	補助金	769	775	1,226	▲ 6	▲ 457
	その他	173	158	129	15	44
	小計	11,629	11,465	11,180	164	449
費用	医療経費	4,811	4,807	4,531	4	280
	人件費	6,579	6,546	5,670	33	909
	（医師）	(1,472)	(1,464)	(1,159)	(8)	(313)
	負担金	756	756	740	0	16
	その他	1,117	1,101	1,062	16	55
	小計	13,263	13,210	12,003	53	1,260
当期純利益		▲ 1,634	▲ 1,745	▲ 823	111	▲ 811

川崎市立多摩病院における診療活動は、収益事業として、学校法人会計から経理を区分しています。

医師の人件費が100%計上される収益事業会計は、当期純利益が▲1,634百万円であったため、学校法人へ繰入れを行わず、利益剰余金として繰り越しました。その結果、期末純資産は元入金の111百万円と合算した▲2,574百万円となります。

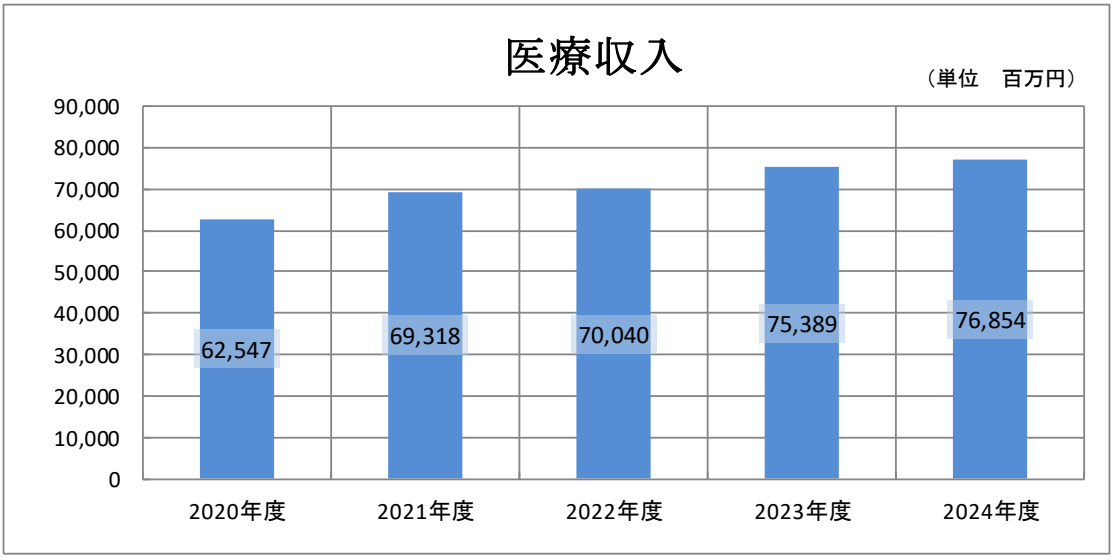
4. 附属病院等の状況

（1）医療収入推移表

（単位　百万円）

部門	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大学病院	37,326	40,265	40,214	44,824	47,878
東横病院	3,585	3,708	3,555	2,706	0
西部病院	12,226	15,270	15,812	16,836	17,208
B&I先端医療センター附属クリニック	1,149	1,180	1,120	1,198	1,081
多摩病院	8,261	8,895	9,339	9,825	10,687
※合計	62,547	69,318	70,040	75,389	76,854

※医療収入合計額は収益事業会計（多摩病院）を含めているため事業活動収支計算書の医療収入額とは一致しません

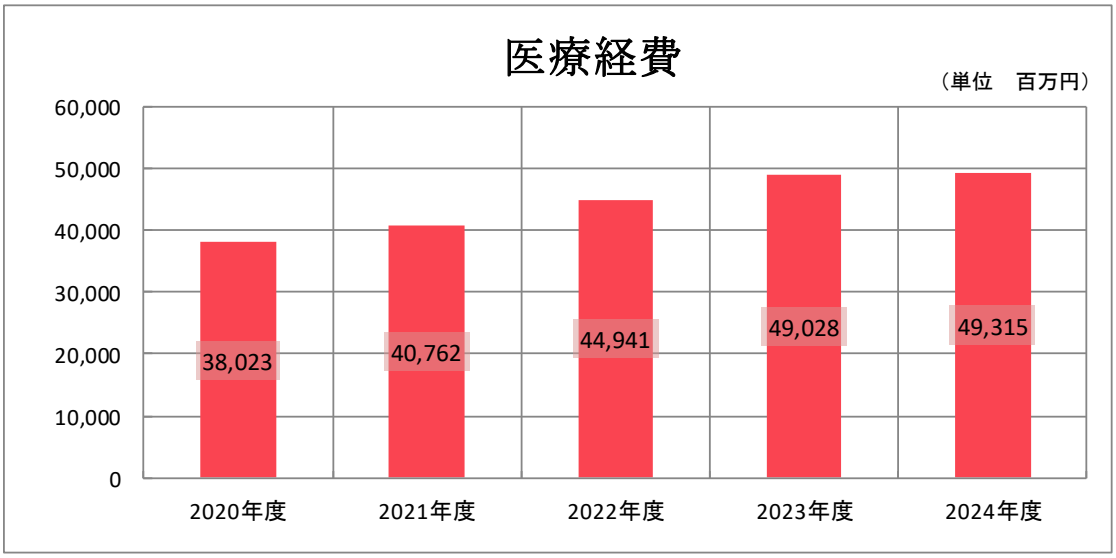


（2）医療経費推移表

（単位　百万円）

部門	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大学病院	20,841	22,053	25,292	27,965	30,989
東横病院	1,927	1,948	1,926	3,286	0
西部病院	9,139	10,213	10,671	10,736	10,980
B&I先端医療センター附属クリニック	905	908	898	937	874
多摩病院	5,211	5,640	6,154	6,104	6,472
※合計	38,023	40,762	44,941	49,028	49,315

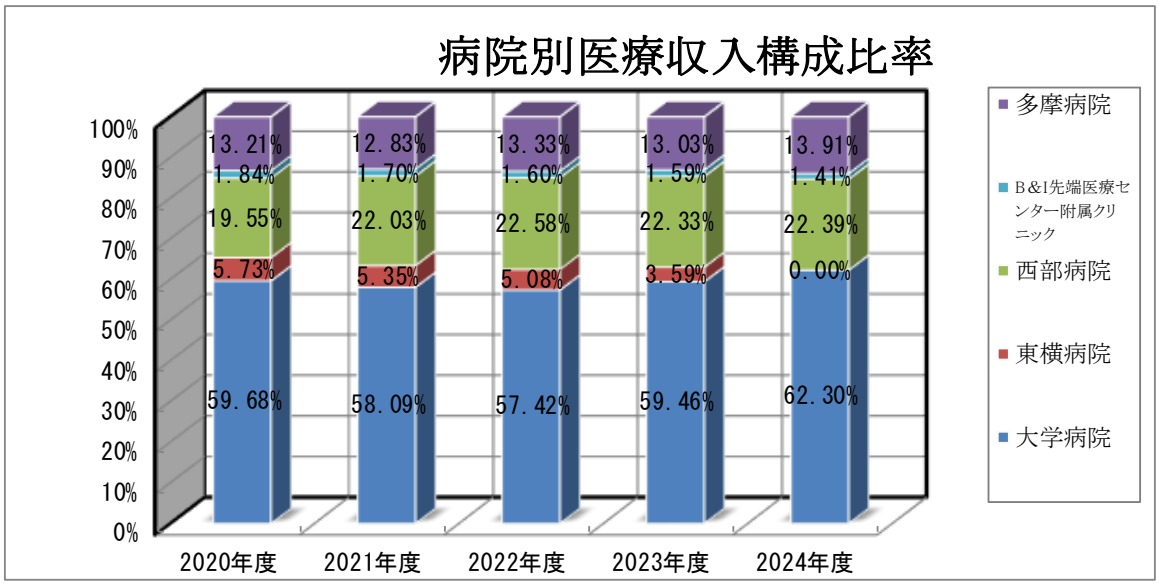
※医療経費合計額は収益事業会計（多摩病院）を含めているため事業活動収支計算書の医療経費額とは一致しません



（3）病院別医療収入構成比率推移表

部門	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大学病院	59.68%	58.09%	57.42%	59.46%	62.30%
東横病院	5.73%	5.35%	5.08%	3.59%	0.00%
西部病院	19.55%	22.03%	22.58%	22.33%	22.39%
B&I先端医療センター附属クリニック	1.84%	1.70%	1.60%	1.59%	1.41%
多摩病院	13.21%	12.83%	13.33%	13.03%	13.91%
※合計	100%	100%	100%	100%	100%

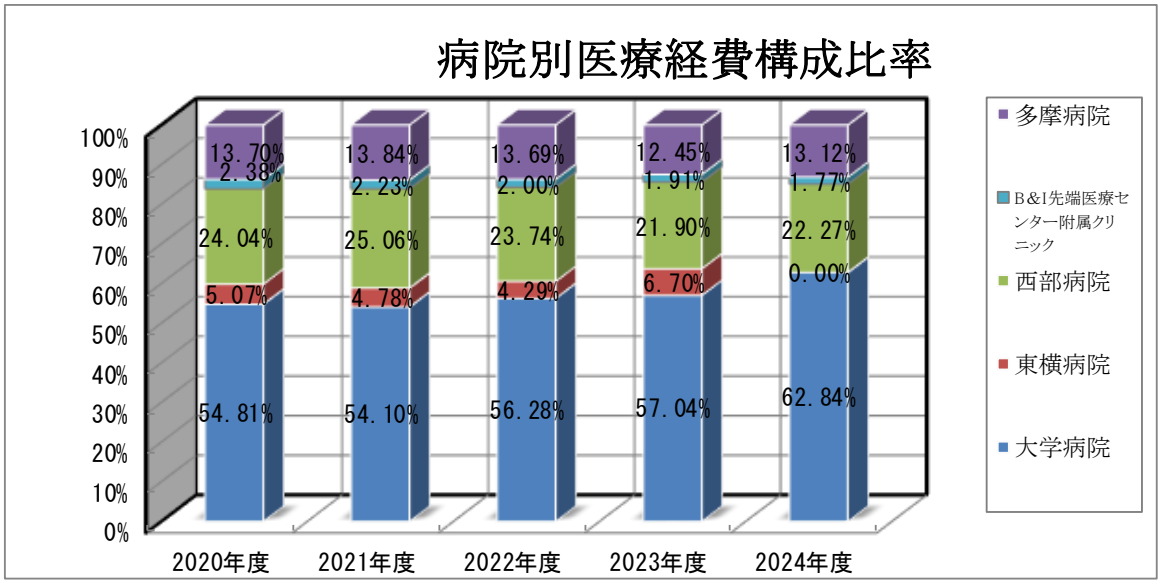
※医療収入構成比率は収益事業会計（多摩病院）を含めているため資金収支計算書及び事業活動収支計算書の医療収入構成比率とは一致しません



（4）病院別医療経費構成比率推移表

部門	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大学病院	54.81%	54.10%	56.28%	57.04%	62.84%
東横病院	5.07%	4.78%	4.29%	6.70%	0.00%
西部病院	24.04%	25.06%	23.74%	21.90%	22.27%
B&I先端医療センター附属クリニック	2.38%	2.23%	2.00%	1.91%	1.77%
多摩病院	13.70%	13.84%	13.69%	12.45%	13.12%
※合計	100%	100%	100%	100%	100%

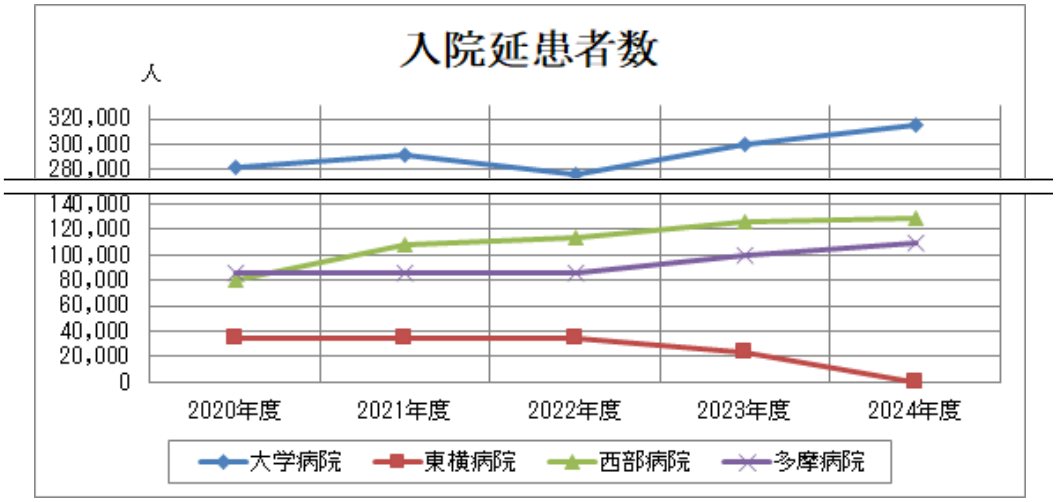
※医療経費構成比率は収益事業会計（多摩病院）を含めているため事業活動収支計算書の医療経費構成比率とは一致しません



（5）病院別入院延患者数

（単位　人）

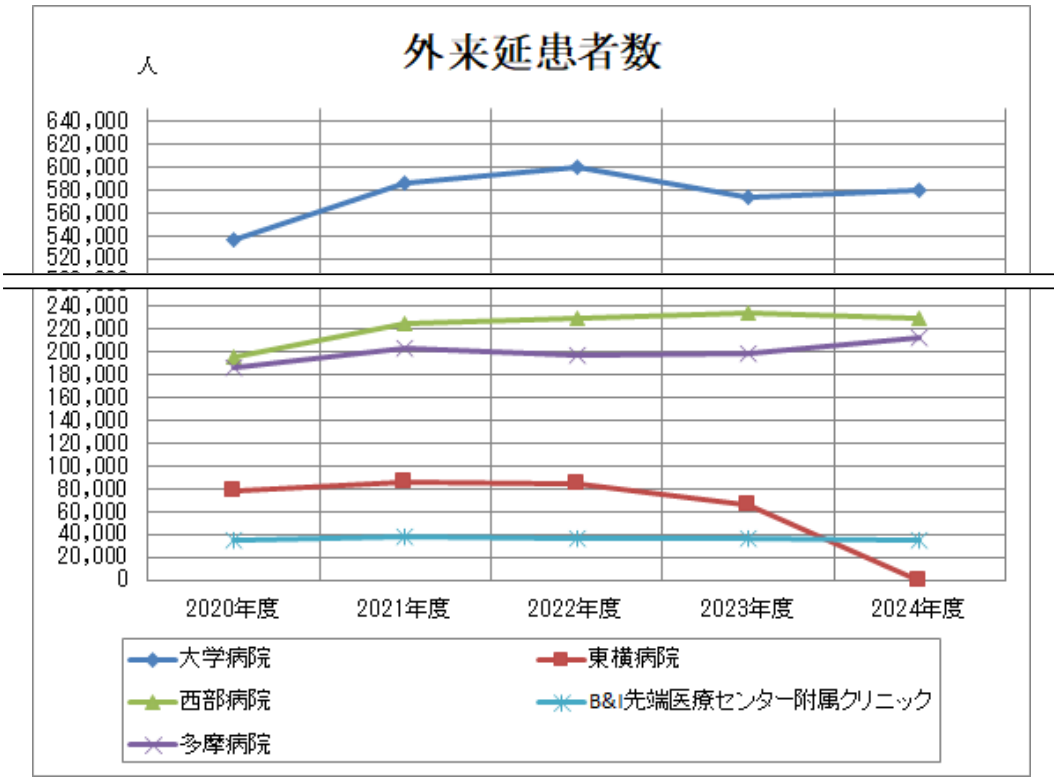
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大学病院	281,407	291,224	276,215	299,601	315,723
東横病院	34,004	34,406	34,244	23,436	0
西部病院	80,568	107,594	114,226	125,840	128,534
多摩病院	85,797	85,463	85,225	100,023	108,790
合計	481,776	518,687	509,910	548,900	553,047



（6）病院別外来延患者数

（単位　人）

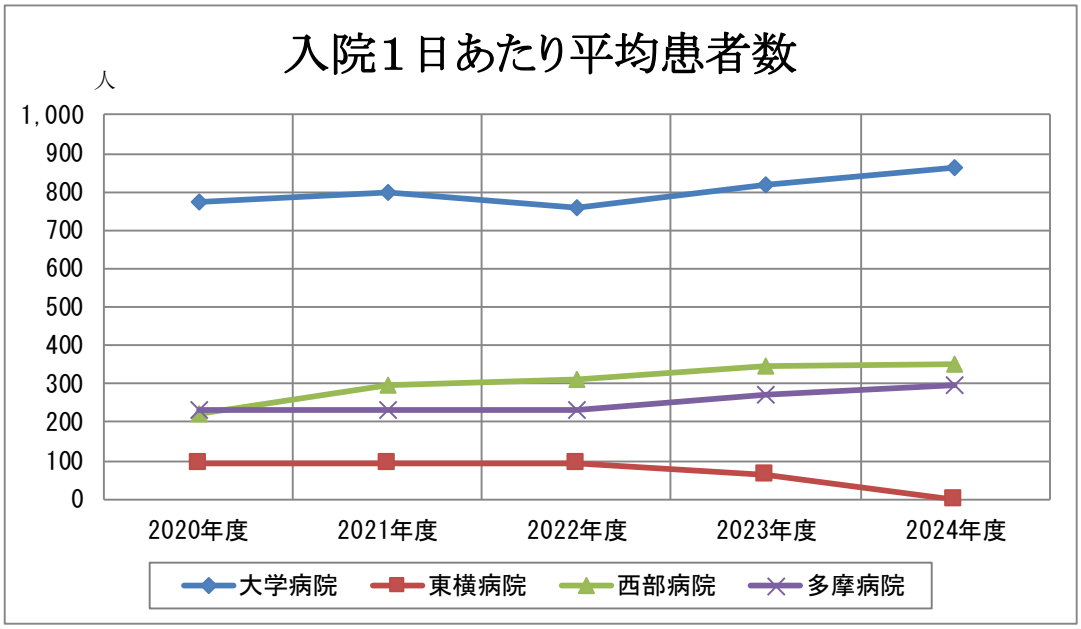
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大学病院	536,297	585,907	599,455	572,777	578,989
東横病院	78,503	85,556	83,951	65,487	0
西部病院	194,533	224,186	229,983	234,614	229,789
B&I先端医療センター附属クリニック	34,968	37,659	36,512	36,006	34,349
多摩病院	186,755	203,135	197,226	198,131	212,605
合計	1,031,056	1,136,443	1,147,127	1,107,015	1,055,732



（7）病院別入院1日あたり平均患者数

（単位　人）

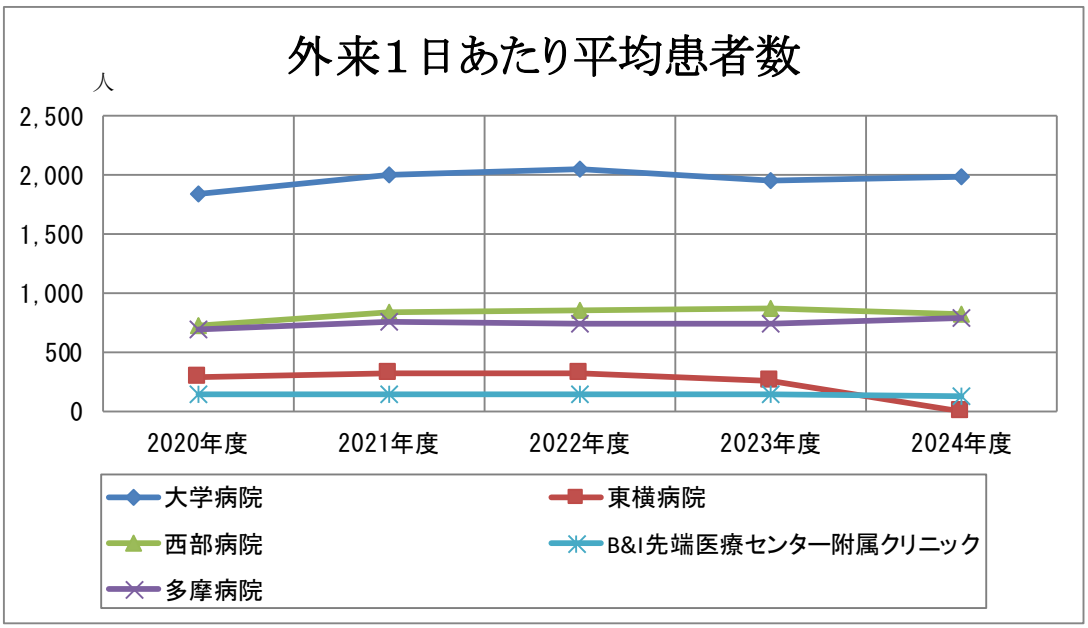
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大　学　病　院	771	798	757	819	865
東　横　病　院	93	94	94	64	0
西　部　病　院	221	295	313	344	352
多　摩　病　院	234	234	233	273	298



（8）病院別外来1日あたり平均患者数

（単位　人）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大　学　病　院	1,837	2,007	2,053	1,962	1,983
東　横　病　院	291	318	313	251	0
西　部　病　院	721	833	858	875	824
B&I先端医療センター附属クリニック	134	140	136	134	128
多　摩　病　院	692	755	736	739	790



所在地

学校法人 聖マリアンナ医科大学
〒　216-8511　川崎市宮前区菅生 2-16-1
℡　044-977-8111㈹

聖マリアンナ医科大学
〒　216-8511　川崎市宮前区菅生 2-16-1
℡　044-977-8111㈹

聖マリアンナ医科大学病院
〒　216-8511　川崎市宮前区菅生 2-16-1
℡　044-977-8111㈹

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
〒　241-0811　横浜市旭区矢指町 1197-1
℡　045-366-1111㈹

川崎市立多摩病院（指定管理者病院）
〒　214-8525　川崎市多摩区宿河原 1-30-37
℡　044-933-8111㈹

聖マリアンナ医科大学看護専門学校
〒　216-8511　川崎市宮前区菅生 2-16-1
℡　044-977-8111㈹

聖マリアンナ医科大学附属研究所　ブレスト＆イメージング先端医療センター附属クリニック
〒　215-0004　川崎市麻生区万福寺 6-7-2　3 階・4 階
℡　044-969-7720㈹

ホームページ　https://www.marianna-u.ac.jp/